

2025 年度
一般社団法人神奈川県作業療法士会
第 12 回 定時社員総会
議案書

期日：2025 年 5 月 11 日（日）

午前 10 時 00 分～12 時 30 分（受付時間 9 時 40 分～）

会場：神奈川県立かながわ労働プラザ

住所：神奈川県横浜市中区寿町 1-4

電話：045-633-5413



一般社団法人 神奈川県作業療法士会
事務所

〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301

Tel&Fax：045-663-5997 <https://kana-ot.jp/>

E-mail:jimu@kana-ot.jp

（JR 根岸線関内駅より徒歩 10 分）

目 次

総会次第	2
一般社団法人神奈川県作業療法士会 2024・2025 年度社員一覧	3
一般社団法人神奈川県作業療法士会 2023～2026 年度中・長期計画	6
決議事項	
第 1 号議案 2024 年度（令和 6 年度）事業報告	8
第 2 号議案 2024 年度（令和 6 年度）決算報告ならびに監査報告	31
第 3 号議案 定款の修正について	39
第 4 号議案 規程の廃止について	41
第 5 号議案 規程の制定について	49
第 6 号議案 役員選挙結果について	54
報告事項	
第 1 号 2025 年度（令和 7 年度）事業計画	55
第 2 号 2025 年度（令和 7 年度）予算案	64
資 料	
・ 2024 年度（令和 6 年度）後援・協賛等一覧	68
・ 2024 年度（令和 6 年度）賛助会員一覧	68
・ 2024 年度（令和 6 年度）名誉会員一覧	68
・ 2024 年度（令和 6 年度）他組織・団体等の県士会代表委員名簿	69
・ 一般社団法人日本作業療法士会 特別表彰者一覧	69
・ 第 8 期（2024 年度/令和 6 年度）理事・監事名簿	70
・ 第 8 期（2024 年度/令和 6 年度）各部・委員名簿	71
・ 一般社団法人神奈川県作業療法士会 会員数結果(2024 年度/令和 6 年度版)	74

2025 度（令和 7 年度）一般社団法人神奈川県作業療法士会

第 12 回 定時社員総会 総会次第

1. 開会のことば
2. 議長団選出（議長）
3. 総会役員選出（議事運営委員、書記、議事録署名人）
4. 会長挨拶
5. 定足数報告
6. 決議事項
 - 第 1 号議案 2024 年度（令和 6 年度）事業報告
 - 第 2 号議案 2024 年度（令和 6 年度）決算報告ならびに監査報告
 - 第 3 号議案 定款の修正について
 - 第 4 号議案 規程の廃止について
 - 第 5 号議案 規程の制定について
 - 第 6 号議案 役員選挙結果について
7. 報告事項
 - 第 1 号 2025 年度（令和 7 年度）事業計画
 - 第 2 号 2025 年度（令和 7 年度）予算案
8. 議長団の解任
9. 閉会のことば
10. 県士会表彰式

一般社団法人神奈川県作業療法士会
2024・2025年度（令和6・7年度）社員一覧

定数：77名 定数算定日：2023（令和5年）年10月1日
登録社員数：77名

【内訳】Aブロック（横浜市・川崎市・相模原市に勤務している正会員）：46名
Bブロック（県域：政令指定都市を除く地域に勤務している正会員）：31名

*所属は2025年（令和7年）4月1日現在

【Aブロック46名（横浜市・川崎市・相模原市に勤務している正会員）（届出順・敬称略）】

No.	氏名	所属
1	玖島 弘規	相原病院
2	宮内 貴之	湘南医療大学保健医療学部
3	中里 和也	ワン・ライフ訪問看護ステーション
4	井本 裕堂	医療法人社団緑成会 横浜総合病院
5	本間 嗣崇	神奈川県立麻生支援学校
6	野本 義則	自宅会員
7	福留 大輔	横浜旭中央総合病院
8	林 慎也	ジャスミン訪問看護ステーション
9	金山 桂	介護老人保健施設 千の風・川崎
10	内山 博之	学校法人岩崎学園 横浜リハビリテーション専門学校
11	水野 友和	江田記念病院
12	石井 将文	東戸塚記念病院
13	榎本 光彦	東戸塚記念病院
14	瀧澤 亮	東戸塚記念病院
15	柳橋 宏亮	江田記念病院
16	鈴木 香苗	関東病院
17	佐藤 光	済生会 東神奈川リハビリテーション病院
18	田島 明子	湘南医療大学
19	中井 琢哉	北里大学病院
20	戸塚 香代子	川崎市中央療育センター
21	花形 真	医療法人財団明理会 介護老人保健施設相模ロイヤルケアセンター
22	清水 謙太	Luxem 訪問看護リハビリステーション川崎宮前
23	村越 妙美	川崎医療生活協同組合 介護老人保健施設樹の丘
24	吉村 由香	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院
25	平井 翔也	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院
26	横山 真佑	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院
27	吉武 信治	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院
28	宇都宮 裕人	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院

29	中西 みなみ	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院
30	水島 加奈子	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院
31	牧山 大輔	イムス横浜狩場脳神経外科病院
32	金原 衣理子	イムス横浜旭リハビリテーション病院
33	宮田 和典	横浜なみきりリハビリテーション病院
34	郷 康人	イムス横浜狩場脳神経外科病院
35	渡瀬 広之	横浜なみきりリハビリテーション病院
36	山中 竜太	イムス横浜狩場脳神経外科病院
37	加藤 秀隆	明芳会 江田記念病院
38	小林 佳弘	ふれあい東戸塚ホスピタル
39	佐々木 秀一	北里大学病院
40	黒崎 空	北里大学病院
41	宮崎 道輝	北里大学病院
42	千葉 周平	北里大学病院
43	佐々木 露葉	麻生リハビリ総合病院
44	山勢 健太郎	おうち診療所二俣川
45	早川 大貴	ふれあい鶴見ホスピタル
46	堀内 翔平	横浜旭中央総合病院

【Bブロック 31名(県域:政令指定都市を除く地域に勤務している正会員)(届出順・敬称略)】

No.	氏名	所属
1	重田 優子	ふれあい平塚ホスピタル
2	佐藤 慶一	横須賀市立総合医療センター
3	山口 拓也	鶴巻温泉病院
4	魚岸 実弦	NPO 法人メンタルサポート葉山ポート
5	和田 尚	湘南大磯病院
6	吉本 雅一	湘南鎌倉総合病院
7	藤本 一博	茅ヶ崎中央病院
8	遠藤 毅	茅ヶ崎中央病院
9	小泉 雅哉	鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院
10	奥原 孝幸	神奈川県立保健福祉大学
11	甲本 夏穂	国際医療福祉大学
12	澤口 勇	訪問看護ステーション レンゲの花
13	黒木 裕介	葉山ハートセンター
14	齊田 浩彰	湘南鎌倉総合病院
15	古屋 陣	北小田原病院
16	田中 秀和	北小田原病院
17	岡 由紀恵	北小田原病院

18	伏見 幹	北小田原病院
19	塚田 菜穂	湘南鎌倉総合病院
20	高橋 若奈	湘南鎌倉総合病院
21	金子 康	湘南わかば苑
22	黒澤 駿	茅ヶ崎中央病院
23	神保 匡良	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
24	村仲 隼一郎	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
25	渋谷 拓郎	えびな脳神経クリニック
26	藤崎 咲子	社会福祉法人翔の会 児童発達支援センターうーたん
27	高須 慎太郎	湘南中央病院
28	神田 崇央	医療法人徳洲会 湘南大磯病院
29	丸山 祥	湘南慶育病院
30	山根 剛	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
31	神保 洋平	湘南医療大学

**(一社) 神奈川県作業療法士会 中・長期計画 2023年度～2026年度
一般社団法人神奈川県作業療法士会 4か年計画 前期 (2023-2024)**

スローガン：

成長する県士会と共に『会員一人ひとりが質の高い作業療法を実践し成長しよう』

2022年度より、当会が掲げた「成長する県士会」をキーワードに、会員がより質の高い作業療法の実践を支援する行動計画を立て遂行してきた。まず、学術や教育活動の推進と支援を軸にした作業療法士の資質向上に努め、さらに作業療法の普及発展を図ることを目的に、神奈川県民の保健、医療、福祉、教育の向上に寄与する公益活動や、県の中央行政や地方自治体に赴き、可能な限り作業療法の理解を求める活動を行ってきた。我々作業療法士が専門的な介入によって解決し得る地域課題に向き合うことができるよう、様々な接点作りが主体的に行動化されたことにより、今まで以上の理解を互いに得ることができた。今後、当会に於いての将来的な成長ビジョンの根幹を成す大事な前期2年間であったことは間違いない。更なる実践的、且つ主体的な団体としての成長を遂げるためにも、当会は法人管理体制の見直しを強化することが早急の課題となってきた。迅速な課題集約や対応が的確に遂行できるよう、法人管理運営部門と公益管理事業部門を機能的に構成する必要性に直面している。

一方、当会は日本作業療法士協会と協同し、国に対する要望事項をまとめ、作業療法士の基本賃金引上げ等の処遇改善を要求することを、リハビリテーション関連職種団体と共同し訴えてきたが、暫定的な期間限定のベースアップにとどまり、未だ雇用喪失の危機に瀕している状況である。引き続きの課題として強く認識している。

様々な取り組みの中、組織率の向上や組織力を強化することは特に重要と考え、より多くの時間を割いてきた。会員の皆の多大なる協力もあり、第19回神奈川県作業療法学会(2023年)、第6回神奈川県臨床作業療法大会(2024年)は多くの作業療法士たちの注目を集め、県外からも関心を寄せる参加者もいた。組織力としての会員の力を力強く感じる事ができた。この場を借りて感謝申し上げたい。

また、石川県能登半島地震(2024年1月)は記憶に新しく、当会としてのできる支援を実施。当会は、自然災害に対する支援協定がなく支援活動ができない団体であったが、2024年度に神奈川県とDWATの基本協定を結ぶことが叶い、災害避難所の福祉支援活動をするための研修を修了した数多くの作業療法士の登録員が誕生した。有事災害時に限らず、如何なる時にも県内の作業療法士たちの柔軟な連携は重要である。そのためにも、日頃より相互理解を深められるようエリア化推進を一層強化する必要性を感じる。

これからの時代、「成長する県士会」を構築するためには柔軟な対応策が鍵となる。そのためにも、学生会員制度および永年会員制度を設立することができた。当会は、会員の一人ひとりが作業療法の質と意識を高められるよう、実りある作業療法の実践と成長の支援を引き続き推進していく。以下に各行動目標も併せ提示する。

(1) 学術・教育活動の推進と支援

会員の知識・技術・人間性の向上を目的とし学術教育活動をさらに推進していく。

研修会はオンライン開催を主軸とし、対面式によるメリットも最大限に活用できるように選択し実施していく。

- ① 卒後教育としての生涯教育
- ② スキルアップとしての研修会
- ③ 研究活動推進のための研究助成
- ④ 成果発表としての学会・臨床大会
- ⑤ 研究倫理委員会機能の強化
- ⑥ 地域活動の協力体制構築としての地域リハビリテーション教育
- ⑦ 作業療法士としての専門性向上と倫理教育

以上の各分野における教育体制を整備し実施していく。

また、県学会および臨床大会については運営マニュアルを活用し、円滑に運営できる体制基盤を構築していく。

(2) 公益活動への取り組み拡大と支援

地域に根差した活動を行っている会員への知識・技術、ツールの提供や協力・助言など、多角的な支援体制を構築する。自動車運転免許センターとの連携強化。認知症事業関連など、行政機関や他団体と連携協業し、県民や多職種に向けた啓発活動や、医療・保健・福祉の向上に繋がるイベントと研修会を開催していく。さらに作業療法士養成教育機関と連携・協働し、未来の作業療法士の育成にも注力する。

(3) 神奈川県エリア化

エリア内の会員同士が更に繋がり地域での活動に取り組めるよう、エリア長担当者を配置しエリア内での組織を構築していく。

- ① 当会が目的としている県民の保健・医療・福祉の向上に寄与するために地域リハビリテーション事業への参画をさらに促していく仕組みとする。
- ② 会員の専門性や特性、ホープやニーズの把握に努め会員の組織率の向上を図る。
- ③ 各エリアの協働により県内の作業療法士の質の向上を図ることも併せて行う。

(4) 法人管理体制の適正化と効率化

法人管理体制の適正化と効率化のために以下を推進していく。

- ① 事務局機能の強化(事務事業に必要なハード・ソフトの充実)
- ② 継承可能な法人管理部門の体制づくりの継続
- ③ 財務システムの効率化と適正化
- ④ 予算執行に関する監視体制の強化
- ⑤ 定款・規程の整理と適正化
- ⑥ 会員情報の調査と管理
- ⑦ 会員の主たる専門分野の活用と会員への還元体制の向上
- ⑧ 公益活動の窓口機能の強化
- ⑨ 倫理機能の強化

〈決議事項〉

第1号議案 2024年度（令和6年度）事業報告

事務局

事務局長 玖島弘規

1. 総会の運営

(1) 第11回定時社員総会

2024年5月12日（日）10:00～11:30

会場：神奈川県横浜市中区寿町1-4 神奈川県立かながわ労働プラザ

2024年5月14日現在の代議員総数 77名

出席代議員数 29名、議決権行使書 15通、委任状数 21名、議決権の総数 65名

第1～7号議案を成立

(2) 臨時社員総会

2024年11月21日（木）19:00～20:05

会場：神奈川県横浜市中区真砂町3-33 商業ビル「セルテ」8階801会議室

オンラインを併用したハイブリッド

2024年5月14日現在の代議員総数 77名

議場出席代議員数 3名、オンライン出席代議員数 30名、議決権行使書 24通、
委任状数 11名、議決権の総数 68名

第1～3号議案を成立

2. 三役会・理事会の開催及び運営：三役会 11回、理事会 8回 計 19回

(1) 三役会 第1回 2024年6月4日（火）

第2回 2024年7月2日（火）

第3回 2024年8月6日（火）

第4回 2024年9月3日（木）

第5回 2024年10月8日（火）

第6回 2024年11月5日（火）

第7回 2024年12月3日（火）

第8回 2025年1月7日（火）

第9回 2025年2月4日（火）

第10回 2025年3月4日（火）

第11回 2024年4月1日（火）

(2) 理事会 第1回 2024年6月13日（木）

第2回 2024年7月18日（木）*

第3回 2024年9月28日（土）*

第4回 2024年11月14日（木）

第5回 2024年12月13日（金）*

- 第6回 2025年1月16日(木)
- 第7回 2025年2月20日(木) *
- 第8回 2025年4月17日(水)

*は開催とした。

3. 会員に対する業務・会員の管理に関すること

- (1) 2024年度入会者：正会員 124名
賛助会員 A 2名 賛助会員 B 0社 賛助会員 C 0名
2024年度正会員総数：2264名
- (2) 問い合わせ・郵便物対応
会員からの問い合わせ：156件(メール)
引き落とし口座、会員履歴証明証、領収証、その他について問い合わせ
非会員からの問い合わせ：18件(メール)
郵便收受：837通
- (3) 会員増への取り組み
関東圏養成校へ県士会ニュース・学術誌配布し広報を実施
入会・退会・変更等の窓口の整理とホームページの更新
- (4) 入会・退会・変更会員情報の管理と手続き
- (5) 日本作業療法士協会との会員情報の連携

4. 関連団体に対する窓口業務

- (1) 介護認定審査会や自立支援法等に関する窓口
県内7市町村(横浜市、川崎市、相模原市、厚木市、小田原市、平塚市、湯河原町)より依頼あり
- (2) 地域ケア会議への参加に関する窓口
県内3市町村(逗子市、藤沢市、横須賀市)
- (3) 日本作業療法士協会
情報周知ならびに表彰事業、各部会・委員会等の参加に関する窓口
- (4) 神奈川県
情報周知ならびに各部会・委員会・ワーキンググループ等の参加に関する窓口
- (5) 神奈川県精神障害スポーツ大会実行委員会に関する窓口
- (6) 神奈川県病院協会事業に関する窓口
- (7) 神奈川県理学療法士会事業に関する窓口
- (8) 各団体後援名義使用に関する窓口
- (9) 各団体表彰に関する窓口
- (10) その他各団体事業への協業等に関する窓口

5. 文書・資料等の管理と発行

- (1) 公文書発行：第2404号～第2564号 計813通

6. 資産の維持・管理に関すること

7. 事務局機能の強化

- (1) 全国公益法人協会との契約(専門家の導入)
税制対応、経理業務の適正化、定款・規程に関する専門家への相談を目的に全国

公益法人協会と契約。事務局機能の適正化及び強化を実施。

(2) 事務局員の新規採用活動

8. 県士会部・委員会との連携・協力体制の構築

(1) ワーキンググループ連携(組織改編/選挙/会員モデル)

(2) その他 メールや電話にて適宜県士会部署との連携・協業

9. 局内連携と協業

(1) 事務局部員との連携協業

事務局会議：年間事業計画の確認、局員の役割確認、事業の振り返りなど

その他：書類確認、理事会内メール連絡、ホームページ研修会掲載などを分業

(2) 事務局員との連携

メール・電話・事務局訪問による事務局員との連携協業

事務局訪問と面談を実施し作業課題の抽出と解消、業務リスト化を推進

財務部

部長 望月強併

1. 収入及び支出の管理

(1) 決算書作成

(2) 予算案編成

(3) 監査実施

中間監査：2024年10月26日 期末監査：2025年4月5日

(4) 各部門会計処理方法を毎月確認

(5) 円滑な会費納入支援

2. 財務管理体制に関する検討

(1) 財務管理システム変更の検討継続

(2) 財務状況の把握と調査

(3) 財務基盤の整備と強靱化についての検討(他部署と連携調整など)

(4) 財務関連知識・技術と体制の更新

(5) 会計マニュアルの更新(適宜)

3. 三役、監事、関係部署との連携(会議への出席、相談・支援等)

(1) 事務局：財務状況の詳細把握、書類・マニュアルの整理・更新

(2) 三役：次年度予算案についての検討、財務状況に関する調査報告

(3) 臨床作業療法大会：臨床作業療法大会の財務に関する助言・支援

(4) 学会実行委員会：学会の財務に関する助言・支援

(5) その他各部署への財務に関する助言・支援

(6) 部長、会計担当者に対する会計説明会の実施

4. 部内会議(適宜実施)

5. その他財務に関すること

学術部

部長 佐々木秀一

1. スキルアップ研修事業(全8回の研修会開催)

(10回の研修会はオンラインツールの「zoom」を使用し、1回は対面にてプリント実技の研修会を実施した。また、参加申込に関してはオンライン決済システム「Peatix」を使用し実施した。Peatix フォロワー数：1,038)

(1) テーマ：若手 OT 必見！明日から使える作業療法実践

日時：2024年6月23日 10:00-11:30 対面・Zoom 研修（ハイブリッド）

講師：芹澤 健輔 OTR（横浜市立みなと赤十字病院）

井上 那築 OTR（済生会東神奈川リハビリテーション病院）

林 慎也 OTR（アールクラ横浜）

県内会員：11名，県内新入会員：20名，県外士会員：9名，県外非会員：2名
学生：5名 合計：47名

(2) テーマ：新素材ルナキャストを使って、短対立装具，コックアップ装具，自助具を作成しよう

日時：2024年7月21日 9:30-12:30 Zoom 研修

講師：成田 大地 OTR（相模原協同病院）

佐々木 秀一 OTR（北里大学病院）

県内会員：18名，県外士会員：4名，

合計：22名

(3) テーマ：大人の発達障害に対する理解と支援 ～作業療法士の視点から～

日時：2024年7月21日 13:30-16:30 Zoom 研修

講師：水野 健 OTR（昭和大学附属烏山病院リハビリテーションセンター）

県内会員：26名，県外士会員：65名，県外非会員：6名，OT 以外：3名

合計：100名

(4) テーマ：ニーズの把握が難しいクライアントの“意味のある活動”を支援するために

日時：2024年9月8日 13:30-16:30 Zoom 研修

講師：小川 真寛 OTR（神戸学院大学）

県内会員：25名，県外士会員：57名，県外非会員：1名，OT 以外：2名

合計：85名

(5) テーマ：「作業機能障害と STOD」を学び、新たな精神科作業療法の実践に役立てよう

日時：2025年1月12日 13:30-16:30 Zoom 研修

講師：清家 庸佑 OTR（東京工科大学）

松岡 太一 OTR（福井記念病院）

県内会員：12名，県外士会員：53名，県外非会員：2名，OT 以外：1名

合計：68名

- (6) テーマ：脳卒中後上肢麻痺の予後予測とエビデンスに基づく作業療法実践
日時：2025年1月23日 19:00-20:30 Zoom 研修
講師：大瀧 亮二 OTR（山形済生病院）
県内会員：49名，県外士会員：95名，県内外非会員：4名
合計：148名
- (7) テーマ：発達障害領域における相互交流的リーズニングの活用
日時：2025年2月16日 13:30-16:30 Zoom 研修
講師：濱田 匠 OTR（鈴鹿医療科学大学）
県内会員：11名，県内非会員：19名，県外士会員：2名，
合計：32名
- (7) テーマ：IPSモデルから学ぶ本人中心の就労支援のポイント
-IPSモデルの概要から実践まで-
日時：2025年3月2日 13:30-16:30 Zoom 研修
講師：澤田 恭一 OTR（就労支援センターFLaT）
佐々木 苑子 OTR（就労支援センターFLaT）
県内会員：8名，県外士会員：40名，県内非会員：3名，OT以外：9名
合計：60名

2. 学術誌刊行事業

『神奈川作業療法研究 The Journal of Kanagawa Occupational Therapy Research 2024 Vol.14』を電子ジャーナル「J-stage」で発刊した。今年度公開済み論文は研究論文1本，事例報告1本の計2本であり，加えて3本の論文（研究論文2本，事例報告1本）について現在印刷作業をしており，順次公開予定である。査読中論文は現在6本（研究論文3本，短報1本，事例報告2本）あり，新たな投稿が増えてきている。神奈川県士会員向けの広報や，臨床作業療法大会演題の中から，座長推薦にて投稿を促す活動などが投稿論文増加に寄与した。投稿論文数増加に伴い，4名の査読委員が新規に就任した。

3. 研究助成事業

2024年度の申請者は，研究I（研究組織2人以上の一般会員）の3名のみであった。書類審査および合議審査の結果，以下の3課題を承認した。

1) 研究I

【研究代表者】村仲隼一郎（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校）

【研究課題】高齢者の大腿骨骨折患者におけるリハビリテーションによるQuality of Lifeのレスポンスシフトの検証

【助成金額】159,100円

2) 研究I

【研究代表者】小林崇志（昭和大学）

【研究課題】精神障害領域に従事する作業療法士はどのように“その人らしさ”を捉えているか？

【助成金額】75,510円

3) 研究I

【研究代表者】山本潤（国際医療福祉大学）

【研究課題】高次脳機能障害による着衣障害の臨床的実態（障害特性と作業療法のかかわり）に関する作業療法士への調査研究

【助成金額】144,876円

教育部

部長 神保洋平

1. 研修会開催報告

(1) 現職者共通研修：全10テーマ開催 参加者合計 768名

1) 2023年10月20日（日）オンライン開催 計306名参加

「作業療法生涯教育概論」 講師 奥原孝幸氏 参加者 75名

「事例報告と事例研究」 講師 神保洋平氏 参加者 76名

「保健・医療・福祉と地域支援」 講師 田中ゆかり氏 参加者 78名

「実践のための作業療法研究」 講師 青木啓一郎氏 参加者 77名

2) 2023年11月26日（日）オンライン開催 計307名参加

「職業倫理」 講師 野本義則氏 参加者 80名

「作業療法の可能性」 講師 錠内広之氏 参加者 73名

「日本と世界の作業療法の動向」 講師 猿爪優輝氏 参加者 80名

「作業療法における協業・後輩育成」 講師 岩上さやか氏 参加者 74名

3) 2024年2月4日（日）オンライン開催 計136名

「事例検討」 参加者名 76名

「事例報告」 参加者名 60名

(2) 現職者選択研修：2領域開催（MTDLP基礎研修はPTDLP推進委員会にて開催）

参加者合計 127名

1) 2024年12月8日（日）オンライン開催 参加者数 44名

「発達障害領域の作業療法」 講師 笹田哲氏，松本政悦氏

2) 2025年2月2日（日）オンライン開催 参加者数 83名

「高齢期領域の作業療法」 講師 水島眞由美氏，林慎也氏，大場文氏，小河原格也氏

(3) 臨床実習指導者講習会 参加者合計 139名

1) 2024年10月5日（土）～6日（日）オンライン開催

（事務局：湘南医療大学）

世話人 述べ14名 参加者 69名

2) 2024年12月14日（土）～15日（日）オンライン開催

（事務局：湘南医療大学）

世話人 述べ15名 参加者 70名

(4) 事例報告登録制度研修会

日本作業療法士協会事例報告登録制度（一般事例）システムが停止したため中止

(5) 実践者向け臨床実習指導研修

1) 2025年3月2日（日）オンライン開催 参加者 25名

講師 神保洋平氏・小砂哲太郎氏・齋藤甚氏・篠崎雅江氏・遠藤陵晃氏

2. 研修会受講システム関連

1) すべてオンライン研修で実施したため、バーコード読み取りによる研修会受け付けは実施していない

2) ポイント登録チームを編成して登録作業実施

3. 日本作業療法士協会生涯教育制度関連

(1) 受講記録の押印、受講履歴登録などの協会関連の手続き（主に生涯教育制度改定により手帳移行関連手続き）、ウェブサイトからの質問への返信

(2) 日本作業療法士協会教育部生涯教育制度推進担当者会議への出席 2回

(3) 生涯学修制度説明会（福利部との共同開催） 参加者 31名（3/11現在）

1) 2025年4月19日（土）・22日（火）オンライン開催（参加者 28名 3/11現在）
「現職者向け説明会」講師 神保洋平氏，山勢健太郎氏

2) 2025年5月10日（土）・20日（火）オンライン開催（参加者 3名 3/11現在）
「新卒者向け説明会」講師 神保洋平氏，山勢健太郎氏

(4) 事例検討・事例報告読み替え申請 計 17 件

1) 事例検討読み替え申請 2件

2) 事例報告読み替え申請 15件

広報部

部長 金山 桂

1. 日本作業療法士協会との連携

(1) 都道府県士会広報部意見交換会への参加：開催されず

(2) 協会・士会説明および入会促進事業への協力：

新入会オリエンテーション、第6回神奈川県臨床作業療法大会への参加

2. 県士会活動に関する啓発活動

(1) 『県士会ニュース』発行・送付

1) 発行回数：年6回、偶数月名で発行

4月号・10月号・12月号は印刷物を送付

6月号・8月号・2月号はウェブサイトにて公開

2) 印刷部数：約 2500部

3) 送付先：会員（賛助会員含む）、関連団体、県内養成校

4) 編集会議：ニュース編集班員による Slack およびメールにて適宜実施

5) レイアウト・印刷・発送作業の委託：高陽印刷所に継続委託

3. 作業療法に関する啓発活動

(1) 一般県民を対象とした活動

1) 神奈川県開催のイベント

「介護フェア in かながわ」ブース出展（横浜）：2024年11月2日出展
介護相談、自宅・施設での生活アドバイス、進路相談【ブース来場約70名】

2) 市町村開催のイベント

「介護いきいきフェア」ブース出展（川崎）：2025年1月23日出展
介護相談、作業療法紹介【ブース来場62名】

「相模原市民桜まつり」ブース出展（相模原）：イベント中止

3) 関係職種・民間企業開催のイベント運営協力

川崎市麻生区「認知症家族介護教室」

運営協力 2024年5月28日・7月24日・11月27日 2025年3月26日

内容検討会議 2024年7月19日、2025年1月22日

ご家族向けの集まりでグループワークのファシリテーター、開始時の体操、講義を行った。11月からは当事者の方とご家族一体型運営のモデル事業として実施。当会は運営協力団体としてチラシに明記、当事者の方への介入担当となった。対象が認知症当事者と拡大したことで当会の認知症対策委員会への移行のため協働実施となった。

(2) 学生を対象とした活動

1) 小中学校における職業講話対尾応・職場見学対応

川崎市宮崎中学校2年生向けの職業講話 2024年9月10日

学校以内での職業紹介授業 2回実施（約70名に紹介）

私立高校1年生向けの職業紹介 2024年7月19日

学校内での職業紹介授業 4回実施（約160名に紹介）

2) 中高生のための「13歳のハローワーク」社会人アドバイザー対応

「マイナビ進学ライブ」2024年7月12日パシフィコ横浜（14名に紹介）

3) 作業療法に興味のある学生に対する施設見学への対応・紹介

対応0名 方法など再検討

4) 学校対応が必要な県士会員からの問い合わせ対応 0名 周知方法検討

4. 広報促進活動

(1) ウェブサイト管理委員会とのLINE公式アカウントの管理、情報発信

(2) 『県士会パンフレット』の改訂の検討

(3) 県士会広報促進グッズの作製：卓上のぼり、椅子カバー、名入りベスト
ペットボトルオープナー

(4) その他県士会を知ってもらうために必要な広報物作成検討

福利部

部長 山勢健太郎

1. 作業療法士養成校への県士会オリエンテーション、入会促進

- (1) 県内3校、県外1校へのオリエンテーションを実施

2. 会員交流企画

- (1) 子育て・介護時にも継続して県士会に加入できる環境の検討

- (2) 新入会員オリエンテーションの開催

2024年6月23日 IMS 横浜国際看護専門学校にて対面で実施

会員参加者24人 理事・監事・運営12人 計36人

神奈川県作業療法士会の紹介、自己紹介等を実施

- (3) 代議員交流会

2024年6月23日 IMS 横浜国際看護専門学校にて対面で実施

代議員3人、理事11人 計14人で意見交換を実施

- (4) 臨床大会での交流企画 「ホッとステーション」の設置

副会長主導、広報部との共同企画で開催。

来場者数延べ88人

3. 求人・求職の推進活動

4. 各種表彰に基づく活動

- (1) 神奈川県内における日本作業療法士協会特別表彰に該当する会員の検索
推薦の実施

1) 日本作業療法士協会 2024年度 特別表彰受賞 該当なし

- (2) その他行政、関連団体の表彰

1) 令和6年度神奈川県保健衛生表彰事務所長・知事賞 該当なし

- (3) 神奈川県作業療法士会 特別表彰及び功労表彰

1) 神奈川県作業療法士会 特別表彰、功労表彰者の推薦及び表彰

【功労表彰受賞者】

・木村 修介氏 ・白濱 勲二氏 ・小室 容子氏

・足立 雄介氏 ・金沢 隆之氏 ・菊地 康子氏

5. 倫理問題についての対応業務

- 1) 日本作業療法士協会倫理要綱の遵守と職業倫理の徹底と日本作業療法士協会との連携強化

2) 都道府県作業療法士会「倫理問題担当窓口」の見直しに関する意見交換会への出席および意見交換

地域リハビリテーション部

部長 遠藤陵晃

1. 研修報告

以下の研修会等を開催。

研修会名	講師	開催日	会場	参加数
集まれ！悩める精神科作業療法士！	西前英紀氏	2/1	横浜 YMCA 学院 専門学校	14 名
小児領域の ICT 支援について	加藤直樹氏 小玉武志氏	3/23	オンライン開催	23 名
OT が知っておきたい医療的ケア児への支援	大郷和成氏	11/18	オンライン開催	24 名
OT が知っておきたい小児訪問リハビリの介入のポイント	八重樫貴之氏	1/15	オンライン開催	25 名
思い(意思)を伝え続ける～身近なアクセシビリティを活用して～	高橋宜盟氏 藤田真樹氏 川島瑠里子氏 岸本貴子氏	3/1	オンライン開催	32 名
今さら聞けない地域作業療法の ICT 活用 (地域リハ人材育成研修会)	初鹿真樹氏 吉原翔太氏	10/20	横浜 YMCA 学院 専門学校	18 名
地域リハビリテーション 人材育成研修会	遠藤陵晃氏 西川航平氏 山崎文子氏 西則彦氏	2/23	横浜 YMCA 学院 専門学校	15 名
OT 地域ミーティング ～回復期での地域支援事業について語る～ (地域ミーティング)	講師なし	12/16	オンライン開催	25 名
利用者の活動を見て、話して、探してみよう！ ～作業療法士が関わった取り組みについて紹介～ (地域ミーティング)	濱口陽介氏 戸塚香代子氏	3/26	オンライン開催	26 名

2. 普及報告

地域リハビリテーションにおける作業療法の普及のため下記事業を実施。

(1) OT 協会地域社会振興部地域包括ケア推進班主催の地域事業支援会議参加

開催日：2024年7月20日、10月5日～6日、2025年3月9日の年3回実施
各士会最大の5名の当会から選任者2名、聴講者3名の参加。
理事や地域リハ部、地域包括ケア推進委員会の班長を中心に参加

(2) OT協会地域社会振興部Bブロック会議

開催日：2024年8月20日、11月12日、2024年3月11日

地域リハ部、地域包括ケアシステム推進委員会の班長などが代表で参加

(3) 神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会との情報交換、事業対応

- ・士会から2024～2025年度役員を3名選出
- ・行政から地域リハ三団体へ依頼した事業の窓口業務、情報交換
- ・介護予防普及展開事業（県アドバイザー派遣）
座間市、大磯町、愛川町の令和6年度高齢者の保健事業と介護
予防の一体的実施における通いの場への伴走支援へ同行。
他市町村へ介護予防事業のOT派遣など実施。

(4) 横浜市主催eスポーツイベントへの障害のある方のゲーム体験のサポート協力

開催日：令和6年11月3日（日・祝）

会場：横浜市庁舎1階アトリウム・スペース

プロのeスポーツ選手からご高齢者、児童、また重症心身障害児・者がステージ上で交流するプログラム、フロアでゲームが体験できるコーナーがあるため、障害のある方のゲーム体験のサポートをこども班と難病リハ班を中心に実施

(5) 行政の窓口になる市町村担当者配置

2023年までは横浜市担当、川崎市担当、相模原市担当、県内全域担当の4名で担当をしていた。2024年度は県内8圏域として窓口を拡大、検討を実施した。

(6) 県の令和6年度市町村介護予防事業支援のための人材育成講座協力

(7) 県や市町村から地域支援事業などの派遣、協力

- ・神奈川県高齢福祉課主催市町村研修会講師
- ・横須賀市地域ケア会議参加
- ・藤沢市地域ケア会議派遣 など

(8) 他の関連団体との連協、協力

- ・第41回神奈川県理学療法士学会
 - ・神奈川県建築士会 車椅子体験研修会
- 研修会などへ講師派遣や運営協力を実施

(9) 地域こども事業の普及と情報収集

①日本作業療法士協会主催5歳児健診への作業療法士参画に関する情報交換会

開催日：2024年7月28日 オンライン開催

②日本作業療法士協会主催教育領域への作業療法士参画に向けた意見交換会

開催日：2024年9月21日 オンライン開催

開催日：2025年1月21日 オンライン開催

③OT協会2024年度特別支援教育に係る都道府県士会の状況アンケート対応

④こども班検討ミーティング

開催日：2025年3月4日 オンライン開催

アドバイザーに東京家政大学の東恩納氏に入って頂き県内、県外の5歳児健診事業の現状と状況把握をこども班で実施

3. 調査報告

地域リハビリテーションに必要な事業の調査を実施する。

(1) 地域支援事業の情報収集およびその対応

県内市区町村の情報収集

(2) 地域リハビリテーション人材バンク検討(地域包括ケアシステム推進委員会共同)。

- ・地域リハビリテーション人材バンクの設立へ向けた情報収集
- ・地域包括ケアシステム推進委員会などと地域人材検討の会議実施

制度対策部

部長 澤口 勇

1. 社会保障制度に関する事業(社会保障制度班)

(1) 社会保障制度に関する情報収集と県士会ニュース・発信ブログによる保険情報の伝達

1) 県士会ニュース「保険情報コーナー(OTが知っておくべき制度情報コーナー)」の掲載(毎号)

- ・令和6年4月より施行される各法令について(障害者差別解消法の改正/精神保健福祉法の改正/障害者雇用促進法の改正)
- ・令和6年6月 診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬同時(トリプル)改定について
- ・旧優生保護法 裁判(7月判決言い渡し)から見る改正障害者差別解消法(施行:令和6年4月1日)について
- ・新たな地域医療構想等に関する検討会について(報告)
- ・2025年6月施行 改正刑法(法務省)について
- ・新たな地域医療構想における精神医療の位置づけ
- ・2025年4月1日施行 障害者雇用の除外率の引き下げについて

2) ブログによる情報発信、5件

(2) 日本作業療法士協会との社会保障制度対策に関する連携

(3) 作業療法士が関わる諸制度に関する研修会

- ・「診療報酬改定(6月)後の情報交換会」(web)

日時:令和6年10月22日(火)18時30分~20時

参加者数:19名(会員18名・非会員1名)、欠席1名(他職種の方)

- ・「刑務所の中でのOTって何ですか? ~時代は懲罰から更生へ“拘禁刑”とは~」

講師:府中刑務所 法務技官 林 稚憲氏(作業療法士)

日時:令和7年2月9日(日)14時15分~16時15分

場所：茅ヶ崎市勤労市民会館（ハイブリッド形式）。

参加者：21名（OT学生7名、県内会員10名、県外4名） *学生含めて非会員が14名

（4）班会議開催

事業進捗に合わせメール会議やウェブ会議を適宜開催した。

2. 福祉用具に関する事業（福祉用具班）

（1）福祉用具に関する情報提供、相談支援

- 1) 福祉用具相談支援システム・生活行為工夫情報システム
- 2) 啓発内容のブログ発信 月2回のペースで発信
- 3) JAOT生活環境推進室主催の会議出席

（2）他団体からの要請に対し、福祉用具関連講師の派遣

- 1) 国際福祉機器展（HCR）：10/2（木）～4（金）東京ビッグサイト
・JAOT生活環境支援推進室より派遣要請あり「福祉用具相談ブース」への人員派遣実施 各日4名 合計12名の対応依頼 当士会ほか東京都士会、千葉県士会で合同運営 当班からは部員3名を派遣

（3）福祉用具に関する会員向け研修会開催

- ・「生活行為工夫情報事業」説明会（web）
日時：令和7年3月7日（金）19時～20時
参加者：0名・3/7（金）19時より

⇒次年度は周知方法並びに開催日時等も工夫して望んでいく。

（4）班会議開催

事業進捗に合わせメール会議を適宜開催した。

3. 災害対策に関する事業（災害対策班）

（1）災害対策に関する情報の収集と発信

- 1) WEBサイトによる災害関連情報発信 8件
- 2) 県士会ニュースへの記事掲載 2件
・神奈川DWAT（神奈川県災害派遣福祉チーム）の派遣に関する基本協定について『令和6年4月11日 神奈川県と当士会はDWAT派遣に関する基本協定を締結』
・令和6年石川県能登半島地震災害ボラ活動に「OTとして」参加（報告）
～JRAT中央対策本部（東京） 後方支援（ロジスティクス要員）～
西 則彦（横浜市総合リハビリテーションセンター）

（2）日本作業療法士協会との災害対策に関わる連携

- 1) 日本作業療法士協会と連携した災害時安否確認システム訓練運用への参加協力
9月25日 11時発災として実施。
- 2) 日本作業療法士協会主催 2023年度災害支援研修会に出席
開催日時：12月14日 13時30分～17時00分
場所：オンライン開催（ZOOM）
講師：日本作業療法士協会地域社会復興部 災害対策課

（3）会員被災状況確認のシステムの運用

- 1) 県士会安否確認システムの訓練運用 9月25日（上記、日本作業療法士協会災害訓練と同時に実施）

10月25日（1か月後）の安否報告数22件（昨年50件）

- 2) 県士会大規模災害時理事会行動マニュアルの訓練実施 9月25日
県士会安否確認システムの訓練運用に合わせて実施。

- (4) 大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（JRAT）および県内他団体との連携、県士会の窓口として機能。

◆令和6年4月11日に締結された神奈川県災害福祉チーム（神奈川 DWAT）派遣に関する県との基本協定に基づき、当士会は「かながわ災害福祉広域支援ネットワーク並びに神奈川 DWAT」へ参画、当士会の窓口業務を担当

- 1) かながわ災害福祉広域支援ネットワーク連絡会への出席（年3回）
2) 神奈川 DWAT への参画

- ・神奈川 DWAT 登録研修会への参加（令和6年度：当士会より会員18名が登録）
- ・令和6年度能登半島地震神奈川 DWAT 活動報告会（10/24）
- ・神奈川 DWAT ステップアップ研修（11//11）：講師派遣 班員より1名派遣
- ・令和6年度神奈川 DWAT 先遣隊及びチームリーダー候補者連絡会（3/12）

- (5) 災害に関する研修会を独自開催

- ・OT が学ぶ災害支援～神奈川県の取り組み・OT の実践報告（web）

日時：令和7年2月11日（火・祝）13時30分～15時

講師：神奈川県地域福祉課福祉グループ 副主幹 岩下 記久

西 則彦（横浜市総合リハビリテーションセンター）

佐野邦典（横浜市立大学附属市民総合医療センター）

参加者：20名（県内15名、県外5名）

- (6) 班会議開催

事業進捗に合わせメール会議やウェブ会議を適宜開催した。

4. 自動車運転と作業療法に関する事業（自動車運転班）

- (1) 自動車運転と作業療法に関する情報収集と発信

- 1) ウェブサイトによる情報発信 1件
2) 県士会ニュースへの記事掲載 4件

- ・停止車両評価について
- ・実車評価について
- ・自動車運転班の活動について
- ・免許センターへの情報提供について

- (2) 自動車運転と作業療法に関する研修会実施

- ・11月23日「OT が知っておくべき道路交通法・臨時適正検査」

オンライン開催 講師：神奈川県警察本部交通部運転免許本部運転教育課

坂本警部補、OT 白岩淑子 参加9名

- (3) 自動車運転と作業療法に関する他団体及び OT 協会との連携

- 1) 神奈川県警との情報交換会と連携

- ・自動車運転サマリー リハビリの意見が見られるよう診断書の備考欄等に「別紙参照」と記載してもらうことで公的文書としての取り扱いが可能になるとのご意見を頂いた

- ・免許センター（二俣川）適正検査見学会開催（令和7年度に開催予定）に向けて協議
 - ・今後も年1回の研修会開催を中心に連携する。
- 2) 神奈川県指定教習所協会との勉強会開催に向けて協議
- ・県内の教習所の方にご参加頂き、OTの紹介・高齢者・認知症などをテーマにした勉強会を行う方向で一致 開催時期は令和7年度を予定
 - ・神奈川県内において実車評価を行える教習所拡大に向けて、神奈川県内における実車評価の実施要項を協同で作成することとなった
- (4) 班会議開催
- 事業進捗に合わせメール会議やウェブ会議を適宜開催した。

規約委員会

委員長 神田崇央

1. 定款、諸規則・規程の管理及び制定、変更、修正等の検討
引き続き、定款及び諸規則・規程の一部改訂及び管理を行った。
2. 実務レベルでのマニュアルの整備
マニュアルの収集を行った。マニュアルがない部署、委員会に対しては作成を促した。

ウェブサイト管理委員会

委員長 佐藤範明

1. 県士会サイトの管理とアクセス件数 ※2025年3.31現在

	更新件数				アクセス件数		
	総件数	講習会	求人情報	その他	全ページの 総プレビュー数	1日あたりの プレビュー数	カウンター
2024/04	27	19	5	3	172,462	5748	2,556
05	39	34	3	2	177,147	5714	2,589
06	63	36	14	13	212,204	7073	2,696
07	71	42	12	17	216,279	6976	2,827
08	52	28	12	12	193,545	6243	2,653
09	50	29	11	10	174,782	5826	2,820
10	65	40	18	7	185,383	5980	3,018
11	56	27	21	8	172,151	5738	2,654

12	52	29	20	3	172,627	5568	2,512
2025/01	71	40	11	20	275,291	8880	2,570
02	36	18	7	11	161,376	5763	2,535
03	33	19	9	5	168,615	5439	2744
合計	615	361	143	111	2,281,862	74,948	32,174
月平均	51	30	12	9	190,155	6251	2681

2. 新着メールマガジン「kanaからの手紙」の発信

登録者数：328名(前年より+30)、発行数：83件 ※2025年3.31時点

3. SNSメディアに関して X(旧 Twitter)・Facebook・YouTube・Instagram)

X(旧 Twitter)フォロワー：421名(前年より+19)、開設からの総ポスト数 15,253

Facebook フォロワー：321名(前年より+10)

YouTube 登録者：21名(前年より±0) 動画数 14本 総再生数 3876回(前年より+768)

Instagram フォロワー：164名(前年より+71)

※いずれも※2025年3.31時点

4. 県士会サイトの広報に関して

4月：226号 県士会サイト メディア情報 Instagram(インスタグラム)の紹介
絵本でみる作業療法の10のヒミツ(ショートコラム)：第8回

6月：227号 県士会サイト 県士会ブログの紹介
絵本でみる作業療法の10のヒミツ(ショートコラム)：第9回

8月：228号 ウェブサイト管理委員会 X(旧 Twitter)の紹介
絵本でみる作業療法の10のヒミツ(ショートコラム)：第10回

10月：229号 県士会サイト 研修会情報・求人情報の紹介
県士会サイト 情報取得メディアリーフレットを同封

12月：230号 県士会サイト スペシャルコンテンツ
【明解、納得、県士会。】の紹介
絵本でみる作業療法の10のヒミツ(ショートコラム)：第11回

2月：231号 県士会サイト スペシャルコンテンツ
県士会サイト役立ち活用術の紹介
絵本でみる作業療法の10のヒミツ(ショートコラム)：第12回(終了)

5. 委員会運営会議 開催2回

2024年9月27日(金) 19時00分～21時00分

2025年3月18日(火) 19時30分～20時45分

6. メール会議

2024年4月～2025年3月末までにメーリングリストにて72通実施。

学会評議委員会

委員長 青木啓一郎

1. 神奈川県作業療法学会および臨床作業療法大会の運営マニュアルの更新
2. 演題登録システム Confit3 ャ年導入（2026年・第7回臨床大会まで）
3. 第6回神奈川県臨床作業療法大会の開催報告
開催日時と方法：2024年12月8日 国際医療福祉大学 小田原キャンパス
（対面開催のみ）
大会長：木村達（鶴巻温泉病院）
テーマ：Communication
 - ・参加者総数：144名
 - ・県士会会員数：110名
 - ・非会員：28名
 - ・学生：5名
 - ・作業療法士以外の専門職：1名
4. 第20回神奈川県作業療法学会の実行委員会支援と進捗
開催日時：2025年9月21日（日）
開催場所：横浜市開港記念会館
学会長：中西理佐子（横浜南共済病院）

テーマ：「Science&Sustainability～次世代へ伝えたい作業療法の魅力～」

前日には前夜祭企画として、9月20日（土）の午後、神奈川県民公開講座
「認知症とともに生きる」を開催
5. 第7回神奈川県臨床作業療法大会の実行委員会支援と進捗
開催日時と方法：検討中
大会長：小砂哲太郎（久里浜医療センター）
6. 第21回神奈川県作業療法学会の学会長の選出の検討
上半期には決定をしていく

生活行為向上マネジメント推進委員会

委員長 奥原孝幸

日本作業療法士協会の活動に協働して、生活行為向上マネジメント（MTDLP）の普及・推進を図る。

1. 生活行為向上マネジメントの講習会を企画・開催
 - (1) MTDLP 基礎研修（対面）
 - ①10/13（日）9：30～17：30

- 参加者：当士会員 28名 他県士会員 2名 計 30名
- ②2/16（日）9：30～17：30
参加者：当士会員 25名 他県士会員 3名 計 28名
- (2) MTDLP 事例報告会（オンライン）
- ①9/29（日）13：00～15：00
参加者：当士会員 2名 他県士会員 3名 計 5名
（報告者 3名 聴講のみ 2名）
- ②11/10（日）13：00～15：00
参加者：当士会員 5名
（報告者 3名 聴講のみ 2名）
- ③1/22（平日夜）19：00～21：00
参加者：当士会 9名 他県士会 2名 合計 11名
（報告者 5名 聴講のみ 6名）
- ④3/2（日）13：00～15：00 参加者：当士会 7名 他県士会 4名 合計 11名
（報告者 7名 聴講のみ 4名）
- 2. 会員の MTDLP に関する意識調査（web アンケート調査）を公表**
昨年度（2024年1月11日から3月15日まで）実施した「生活行為向上マネジメント（MTDLP）に関する意識調査」の結果を県士会ニュース 8月号にて公表
- 3. MTDLP の普及・推進**
広報誌（県士会ニュース）に MTDLP に関する記事を毎号掲載し、ウェブサイトにも記事を掲載
- 4. 日本作業療法士協会主催の MTDLP 全国推進会議に出席**
- | | | |
|--------------------|----------------------|-------|
| 第 1 回 MTDLP 全国推進会議 | 8 月 8 日 19 時から 21 時 | 7 名出席 |
| 第 2 回 MTDLP 全国推進会議 | 12 月 9 日 19 時から 21 時 | 6 名出席 |
| 第 3 回 MTDLP 全国推進会議 | 3 月 13 日 19 時から 21 時 | 4 名出席 |

認知症対策委員会

委員長 佐藤 隼

1. 会員向け研修会の開催

- (1) 認知症アップデート研修（臨床編）」
日時：2024年10月23日（水）19：00～21：00
会場：オンライン
内容：中・重度認知症の方に対する ADL・BPSD、QOL 評価および介入戦略
講師：田中寛之 氏（作業療法士、大阪府立大学）
参加者：77名（会員…38名、他士会員…33名、非会員…6名）
- (2) 認知症アップデート研修（地域編）」
日時：2025年3月28日（金）19：00～21：00

方法：オンライン

内容：『認知症フレンドリー社会の実現に向けて

- オレンジイノベーションプロジェクトに OT としてできること - 』

講師：小河原格也 氏（作業療法士、神奈川県立保健福祉大学）

成田悠亜 氏（神奈川県政策局いのち・未来戦略本部室）

高橋光進 氏（株式会社日本総合研究所リサーチ・コンサルティング部）

参加者：27 名（会員…17 名、他士会員…10 名）

2. 認知症関連の情報収集および情報発信

神奈川県主催「かながわオレンジフェスタ」実行委員会に担当理事が出席、参加する関連団体と意見交換した。

3. 認知症関連団体との協力・連携

小田原市・箱根町・湯河原町・真鶴町の認知症関連団体が一体となって開催している「認知症をにんちしよう会イベント」に実行委員として参加し、認知機能低下予防につながる活動の『コグニサイズ』をステージ上で発表した。

4. 部内会議（オンライン開催）

第 1 回：2024 年 6 月 4 日（火）19：00～20：10

第 2 回：2025 年 1 月 10 日（金）20：00～21：00

第 3 回：2025 年 3 月 12 日（水）19：00～20：00

その他メールにて確認・連絡を適宜実施。

5. その他

（1）都道府県士会の認知症関連に関する活動報告

各士会が取り組んでいる認知症関連の活動を日本作業療法士協会ホームページに集約するため、当士会の活動状況を所定 PowerPoint データにまとめて報告した。

（2）士会における認知症への取り組みを推進する担当者同士の情報交換会

主催：日本作業療法士協会地域社会振興部

日時：2024 年 12 月 8 日（日）13：00～16：00

方法：オンライン開催

参加者：1 名（担当理事）

地域包括ケアシステム推進委員会

委員長 遠藤陵晃

1. 横浜市地域リハビリテーション活動支援事業への派遣実績

（1）派遣回数：37 回、

直近 5 年件数推移

2020 年度	16 回
---------	------

2021年度	30回
2022年度	45回
2023年度	45回
2024年度	37回

(2) 横浜市事務検討会への出席

- 1) 第1回地域リハビリテーション活動支援事業検討プロジェクト
日時：令和6年4月25日(木)
- 2) 第2回地域リハビリテーション活動支援事業検討プロジェクト
日時：令和6年8月27日(木)
- 3) 第3回地域リハビリテーション活動支援事業検討プロジェクト
日時：令和6年11月21日(木)
- 4) 第4回地域リハビリテーション活動支援事業検討プロジェクト
日時：令和7年2月27日(木)

2. 令和6年度地域リハビリテーション活動支援事業リハビリテーション専門職と区・地域ケアプラザ職員の交流会

- ・主催：横浜市健康福祉局地域包括ケア推進課
日時：令和6年10月31日(木)、14時～17時
場所：4会場／横浜市中区・都筑区・磯子区・保土ヶ谷区
参加者：西川班長、木下委員、他 OT10名
内容：①地域リハビリテーション活動支援事業の紹介、②各リハ職の役割紹介、③好事例紹介、④好事例を基にした意見交換、⑤総評

3. 横浜市介護予防業務研修（基礎編）

- 日時：令和6年6月27日(木)10：00～17：00
会場：オンライン（Zoom）
講師派遣：西川班長
テーマ：介護予防・フレイル予防の取組推進について（通いの場・社会参加）

4. 横浜市地域ケア会議応用研修

- 日時：令和7年1月20日(月)9：30～12：30
場所：神奈川県立かながわ労働プラザ
主催：横浜市健康福祉局高齢在宅支援課
参加：西川班長
対象：横浜市保健師、地域ケアプラザ主任ケアマネ・保健師、地区社協

5. 地域リハビリテーション活動支援事業の教育分野への啓発

- ・学生に限らず県士会員へ地域人材育成普及啓発

6. 地域リハビリテーション人材バンクの設立へ向けた情報収集

- ・日本作業療法士協会地域包括ケア推進員会主催研修会への参加
- ・地域リハビリテーション部地域人材検討の会議実施

エリア化推進委員会

委員長 野本義則

1. 委員会の開催

2回開催する。2024年5月29日、10月28日

2. 交流会の開催

(1) OT コネクトミーティング

会員同士が繋がれる場づくりとしてWEBにて2回開催した。

日程	テーマ	参加者数
2024年6月20日	教育・マネジメント	9名
2025年3月3日	県士会の魅力を語ろう！	2名

(2) OT エリアミーティング

地域の会員同士が繋がれる場として8回開催した。

日程	開催エリア	参加者数
2024年7月18日	横浜&川崎エリア	6名
2024年8月15日	相模原&県央エリア	4名
2024年9月19日	県西&湘南西部エリア	4名
2024年10月17日	湘南東部&横須賀三浦エリア	4名
2024年11月21日	横浜&川崎エリア	3名
2025年1月16日	相模原&県央エリア	0名
2025年2月20日	県西&湘南西部エリア	9名
2025年3月20日	湘南東部&横須賀三浦エリア	2名

3. 地域支援活動助成金事業

(1) 令和5年度助成金事業

「WheeLog! in 小田原」車椅子街歩きイベント

実施団体名：車いす街歩き実行委員会

事業実施日：令和6年9月8日(日)

実施内容は、県士会ニュース No. 232 にて報告。

助成額：50,000円のうち48,042円が執行され、1958円が返金。

助成金執行状況は本委員会にて確認した。

(2) 令和6年度助成金事業

申請期間：令和6年10月1日～11月30日

申請期間中に以下の3事業の申請があり、委員会にて確認、理事会にて検討の結果、3事業に対し助成することとした。

団体名	事業名	助成金額
車いす街歩き実行委員会	「車椅子×着物×街歩きガイド」で小田原を歩こう！	50000円
ココロとカラダ@SAGAMIHARA	市民ならびに支援者向けメンタルヘルス普及啓発事業 「依存症や成人期の神経発達症（発達障害）への支援」（仮）	50000円
ほほえみ訪問看護リハビリテーション	地域ケアプラザと共同し地域高齢者グループに継続介入する事での効果検討	50000円

4. その他エリア化推進に関すること

エリア化の具現化に向けて、会員等へのヒアリングを実施した。

選挙管理委員会

委員長 池田公平

1. 代議員選挙に関すること

1) 令和6年度・7年度代議員選挙の報告

立候補募集期間：2023年12月1日～12月15日（消印有効）

推薦候補募集期間：2024年1月9日～2月13日

Aブロック（横浜市・川崎市・相模原市に勤務している正会員）：46名

Bブロック（県域：政令指定都市を除く地位域に勤務している正会員）：31名

2. 役員選挙に関すること

1) 役員選挙に関する運営・実施

令和7年度・8年度役員選挙結果

立候補募集期間：2024年11月25日～12月23日（消印有効）

立候補者：8名，監事0名

理事会による推薦：理事10名，監事2名

2) 選挙に関する振り返りの実施

ワーキンググループ・プロジェクトチーム

部や委員会の中での活動にとどまらず、県士会運営の推進力とするために、2024年度も引き続きワーキンググループやプロジェクトチームを結成して、重点課題に向けた活動に取り組んだ

1. 会員モデルワーキング：リーダー 神保武則（会長）

<活動目的>

会員数増加を目標に、新入会者増・退会者減に向けた取り組みを行う。

現会員の会員データの分析を行い、対応・対策を検討する。

各部委員会が執行する事業活動を通して、どのようなアイデアがあるか各部より掘り起こしを行い、県士会全体としての会員増活動をマネジメントしていく。

<メンバー>山勢理事（福利部）、金山理事（広報部）、望月理事（財務部）、
神田理事（規約委員会）、奥原理事（MTDLP 推進委員会）、神保会長、
玖島事務局長（事務局）

<活動内容>

以下の内容で検討会議を4回実施、その他メールを活用

- (1) 各事業における会員増につながるアイデア（主に入会増に関して）について
- (2) 会員モデルの検討（永年会員、学生会員）
- (3) 会員区分変更に伴う定款、規程の検討：規約委員会
- (4) 会員データの分析と会員シミュレーション：事務局・財務部
- (5) 新入会員オリエンテーション実施方法について：福利部・広報部
- (6) 新卒者に対する入会金、初年度年会費無料の提案

2. 組織図改編ワーキング：

<活動目的> 2025年度の組織図改編に向けた準備や構成部署の検討を行う

<メンバー>

- ・ 学術部門：奥原理事（MTDLP）、神保(洋)理事（教育部）、佐々木理事（学術部）、
青木理事（学会評議）、田中副会長
- ・ 広報活動部門：佐藤(範)理事（ウェブサイト）、金山理事（広報部）、吉本副会長
- ・ 制度対策部門：澤口理事（制度対策部）、山勢理事（福利部）、田中副会長
- ・ 地域社会振興部門：遠藤理事（地域リハ部）、野本理事（エリア化）、佐藤(隼)理事
（認知症対策）、西川班長（地域包括ケア）、吉本副会長
- ・ 法人管理部門：神田理事（規約）、奥原理事（MTDLP）、望月理事（財務部）、山勢理事
（福利部）、玖島事務局長（事務局）、吉本副会長

<活動内容>

- (1) 部署内の事業内容の整理と課題の共有
- (2) 組織図改編に向けた構成部署の検討

第2号議案 2024年（令和6年）度決算報告ならびに監査報告

一般社団法人 神奈川県作業療法士会 令和6年度決算報告

自：令和6年4月1日 至：令和7年3月31日

<収入の部>

	当初予算額	補正予算額	計	決算額	備考
会費収入	17,280,000	0	17,280,000	17,003,626	
正会員会費収入	17,230,000		17,230,000	16,907,126	入会金含む
賛助会員会費収入	50,000		50,000	96,500	
研修会費収入	2,424,000	0	2,424,000	4,284,678	
学術部	650,000		650,000	824,246	
教育部	1,216,000		1,216,000	2,553,000	
地域リハビリテーション部	98,000		98,000	118,000	
制度対策部	35,000		35,000	24,500	
生活行為向上マネジメント推進委員会	345,000		345,000	367,000	
認知症対策委員会	80,000		80,000	105,500	
第6回神奈川県臨床作業療法大会	0		0	292,432	
助成金収入	150,000	0	150,000	150,000	
地域リハビリテーション部(人材育成研修会)	150,000		150,000	150,000	
広告収入	50,000	0	50,000	30,000	
雑収入	20,000	0	20,000	62,101	
利息	0	0	0	19,326	
運営費取り崩し	6,525,020	0	6,525,020	0	
収入合計	26,449,020	0	26,449,020	21,549,731	

<支出の部>

	当初予算額	補正予算額	計	決算額	増減・残
事務局	11,874,600	0	11,874,600	9,469,208	2,405,392
給与手当	4,140,000		4,140,000	3,224,871	915,129
福利厚生費	76,000		76,000	83,600	▲ 7,600
会議費	859,000		859,000	273,000	586,000
旅費交通費	540,000		540,000	364,116	175,884
消耗品費	270,000		270,000	81,075	188,925
印刷製本費	150,000		150,000	147,318	2,682
修繕費	47,000		47,000	0	47,000
賃借料	1,889,600		1,889,600	1,711,292	178,308
光熱水費	300,000		300,000	215,629	84,371
広告宣伝費	0		0	39,600	▲ 39,600
渉外費	70,000		70,000	118,226	▲ 48,226
通信運搬費	1,409,000		1,409,000	755,951	653,049
委託費	1,804,000		1,804,000	1,728,858	75,142
諸謝金	0		0	0	0
負担金	0		0	10,000	▲ 10,000
消耗備品費	60,000		60,000	106,008	▲ 46,008
備品費	0		0	0	0
その他活動費	0		0	120,836	▲ 120,836
支払手数料	200,000		200,000	452,708	▲ 252,708
雑費	60,000		60,000	8,800	51,200
保険料	0		0	26,720	▲ 26,720
租税公課	0		0	600	▲ 600
寄付金	0		0	0	0

財務部	20,000	0	20,000	5,960	14,040
福利厚生費	0	0	0	0	0
会議費	6,000	6,000	6,000	0	6,000
旅費交通費	6,000	6,000	6,000	5,360	640
消耗品費	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0
渉外費	0	0	0	0	0
通信運搬費	2,000	2,000	600	1,400	
委託費	0	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0	0
負担金	0	0	0	0	0
消耗備品費	0	0	0	0	0
支払手数料	2,000	2,000	0	2,000	
雑費	4,000	4,000	0	4,000	
学術部	1,278,720	0	1,278,720	1,045,819	232,901
福利厚生費	44,000	44,000	41,336	2,664	
会議費	233,000	233,000	179,000	54,000	
旅費交通費	81,000	81,000	27,880	53,120	
消耗品費	70,000	70,000	62,817	7,183	
印刷製本費	60,000	60,000	8,732	51,268	
賃借料	39,000	39,000	66,729	▲ 27,729	
渉外費	0	0	0	0	
通信運搬費	37,200	37,200	2,770	34,430	
委託費	288,000	288,000	270,480	17,520	
諸謝金	401,520	401,520	357,860	43,660	
負担金	0	0	0	0	
消耗備品費	10,000	10,000	0	10,000	
備品費	0	0	0	0	
支払手数料	15,000	15,000	28,215	▲ 13,215	
雑費	0	0	0	0	
教育部	1,579,000	0	1,579,000	1,285,540	293,460
福利厚生費	64,000	64,000	40,000	24,000	
会議費	148,000	148,000	105,000	43,000	
旅費交通費	96,000	96,000	13,060	82,940	
消耗品費	20,000	20,000	0	20,000	
印刷製本費	30,000	30,000	0	30,000	
賃借料	120,000	120,000	0	120,000	
渉外費	6,000	6,000	0	6,000	
通信運搬費	39,000	39,000	2,730	36,270	
委託費	0	0	0	0	
諸謝金	1,054,000	1,054,000	1,091,640	▲ 37,640	
負担金	0	0	0	0	
消耗備品費	0	0	0	0	
備品費	0	0	0	0	
支払手数料	2,000	2,000	33,110	▲ 31,110	
雑費	0	0	0	0	
広報部	2,779,200	0	2,779,200	1,652,982	1,126,218
福利厚生費	0	0	18,000	▲ 18,000	
会議費	151,000	151,000	6,000	145,000	
旅費交通費	91,000	91,000	24,490	66,510	
消耗品費	20,000	20,000	48,319	▲ 28,319	
印刷製本費	970,000	970,000	735,840	234,160	
賃借料	80,000	80,000	0	80,000	
渉外費	0	0	0	0	
通信運搬費	1,176,000	1,176,000	719,253	456,747	
委託費	0	0	94,590	▲ 94,590	
諸謝金	0	0	0	0	
負担金	0	0	0	0	
消耗備品費	270,000	270,000	0	270,000	
備品費	0	0	0	0	
支払手数料	21,200	21,200	6,490	14,710	
雑費	0	0	0	0	

福利部	275,900	0	275,900	115,789	160,111
福利厚生費	0		0	63,516	▲ 63,516
会議費	104,000		104,000	0	104,000
旅費交通費	44,000		44,000	0	44,000
消耗品費	0		0	8,947	▲ 8,947
印刷製本費	0		0	0	0
賃借料	0		0	0	0
渉外費	38,000		38,000	41,986	▲ 3,986
通信運搬費	0		0	1,120	▲ 1,120
委託費	0		0	0	0
諸謝金	23,000		23,000	0	23,000
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	50,000		50,000	0	50,000
備品費	5,000		5,000	0	5,000
支払手数料	7,000		7,000	220	6,780
雑費	4,900		4,900	0	4,900
地域リハビリテーション部	932,200	0	932,200	518,295	413,905
福利厚生費	65,800		65,800	69,039	▲ 3,239
会議費	279,000		279,000	162,000	117,000
旅費交通費	113,000		113,000	35,660	77,340
消耗品費	16,700		16,700	7,097	9,603
印刷製本費	99,000		99,000	11,482	87,518
賃借料	81,900		81,900	25,000	56,900
渉外費	26,000		26,000	0	26,000
通信運搬費	23,500		23,500	21,256	2,244
委託費	0		0	0	0
諸謝金	220,000		220,000	175,166	44,834
負担金	1,400		1,400	0	1,400
消耗備品費	0		0	0	0
備品費	0		0	0	0
支払手数料	5,900		5,900	11,595	▲ 5,695
雑費	0		0	0	0
制度対策部	374,340	0	374,340	135,302	239,038
福利厚生費	18,000		18,000	0	18,000
会議費	123,000		123,000	72,000	51,000
旅費交通費	47,500		47,500	29,920	17,580
消耗品費	7,500		7,500	5,199	2,301
印刷製本費	26,900		26,900	0	26,900
賃借料	70,000		70,000	5,517	64,483
渉外費	11,000		11,000	12,875	▲ 1,875
通信運搬費	7,440		7,440	6,440	1,000
委託費	0		0	0	0
諸謝金	52,000		52,000	0	52,000
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	1,000		1,000	0	1,000
備品費	0		0	0	0
支払手数料	9,000		9,000	3,135	5,865
雑費	0		0	216	▲ 216
修繕費	1,000		1,000	0	1,000
規約委員会	26,140	0	26,140	6,120	20,020
福利厚生費	0		0	0	0
会議費	18,000		18,000	5,000	13,000
旅費交通費	4,500		4,500	0	4,500
消耗品費	0		0	0	0
印刷製本費	0		0	0	0
賃借料	2,000		2,000	0	2,000
渉外費	0		0	0	0
通信運搬費	1,040		1,040	1,120	▲ 80
委託費	0		0	0	0
諸謝金	0		0	0	0
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	0		0	0	0
備品費	0		0	0	0
支払手数料	600		600	0	600
雑費	0		0	0	0

ウェブサイト管理委員会	239,740	0	239,740	22,189	217,551
福利厚生費	0		0	0	0
会議費	27,000		27,000	14,000	13,000
旅費交通費	6,000		6,000	0	6,000
消耗品費	0		0	0	0
印刷製本費	8,000		8,000	6,989	1,011
賃借料	0		0	0	0
渉外費	0		0	0	0
通信運搬費	183,740		183,740	1,200	182,540
委託費	0		0	0	0
諸謝金	0		0	0	0
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	15,000		15,000	0	15,000
備品費	0		0	0	0
支払手数料	0		0	0	0
雑費	0		0	0	0
学会評議委員会	113,540	0	113,540	38,479	75,061
福利厚生費	0		0	0	0
会議費	92,000		92,000	28,000	64,000
旅費交通費	9,000		9,000	3,614	5,386
消耗品費	0		0	0	0
印刷製本費	0		0	0	0
賃借料	0		0	0	0
渉外費	0		0	0	0
通信運搬費	12,540		12,540	1,640	10,900
委託費	0		0	0	0
諸謝金	0		0	0	0
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	0		0	0	0
備品費	0		0	0	0
支払手数料	0		0	5,225	▲ 5,225
雑費	0		0	0	0
選挙管理委員会	80,000	0	80,000	520	79,480
福利厚生費	0		0	0	0
会議費	20,000		20,000	0	20,000
旅費交通費	20,000		20,000	0	20,000
消耗品費	0		0	0	0
印刷製本費	40,000		40,000	0	40,000
賃借料	0		0	0	0
渉外費	0		0	0	0
通信運搬費	0		0	520	▲ 520
委託費	0		0	0	0
諸謝金	0		0	0	0
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	0		0	0	0
備品費	0		0	0	0
支払手数料	0		0	0	0
雑費	0		0	0	0
生活行為向上マネジメント推進委員会	426,000	200,000	626,000	607,896	18,104
福利厚生費	32,000	0	32,000	13,606	18,394
会議費	21,000	0	21,000	70,000	▲ 49,000
旅費交通費	12,000	0	12,000	13,560	▲ 1,560
消耗品費	5,000	0	5,000	2,080	2,920
印刷製本費	5,000	0	5,000	1,710	3,290
賃借料	70,000	0	70,000	21,400	48,600
渉外費	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	6,610	▲ 6,610
委託費	0	0	0	0	0
諸謝金	276,000	200,000	476,000	470,304	5,696
負担金	0	0	0	0	0
消耗備品費	0	0	0	0	0
備品費	0	0	0	0	0
支払手数料	5,000	0	5,000	8,626	▲ 3,626
雑費	0	0	0	0	0

認知症対策委員会	108,000	0	108,000	53,690	54,310
福利厚生費	6,000		6,000	12,000	▲ 6,000
会議費	28,000		28,000	14,000	14,000
旅費交通費	9,000		9,000	1,520	7,480
消耗品費	0		0	0	0
印刷製本費	7,000		7,000	0	7,000
賃借料	5,000		5,000	0	5,000
渉外費	0		0	0	0
通信運搬費	2,000		2,000	2,400	▲ 400
委託費	0		0	0	0
諸謝金	44,000		44,000	23,000	21,000
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	0		0	0	0
備品費	0		0	0	0
支払手数料	3,000		3,000	770	2,230
雑費	4,000		4,000	0	4,000
地域包括ケアシステム推進委員会	100,500	0	100,500	13,365	87,135
福利厚生費	0		0	0	0
会議費	78,000		78,000	11,000	67,000
旅費交通費	16,000		16,000	0	16,000
消耗品費	0		0	0	0
印刷製本費	0		0	0	0
賃借料	5,000		5,000	0	5,000
渉外費	0		0	0	0
通信運搬費	1,500		1,500	0	1,500
委託費	0		0	0	0
諸謝金	0		0	0	0
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	0		0	0	0
備品費	0		0	0	0
支払手数料	0		0	2,365	▲ 2,365
雑費	0		0	0	0
エリア化推進委員会	270,940	0	270,940	200,638	70,302
福利厚生費	45,000		45,000	28,000	17,000
会議費	27,000		27,000	14,000	13,000
旅費交通費	19,500		19,500	0	19,500
消耗品費	0		0	42	▲ 42
印刷製本費	7,000		7,000	0	7,000
賃借料	15,000		15,000	0	15,000
渉外費	0		0	0	0
通信運搬費	1,040		1,040	3,756	▲ 2,716
委託費	0		0	0	0
諸謝金	0		0	0	0
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	1,000		1,000	0	1,000
備品費	0		0	0	0
支払手数料	5,400		5,400	4,840	560
雑費	150,000		150,000	150,000	0
助成金	400,000	0	400,000	242,562	157,438
研究助成	400,000	0	400,000	242,562	157,438
神奈川県作業療法学会実行委員会	1,600,000	0	1,600,000	665,570	934,430
準備年、会場費50万円+運営費110万円	1,600,000	0	1,600,000	665,570	934,430
臨床作業療法大会実行委員会	900,000	613,230	1,513,230	1,184,403	328,827
開催年、会場費40万円+運営費50万円	900,000	613,230	1,513,230	1,184,403	328,827
他団体会費	70,200	0	70,200	69,630	570
神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会	70,200	0	70,200	69,630	570
活動費合計	23,449,020	813,230	24,262,250	17,333,957	6,928,293
積立金	2,000,000	0	2,000,000	2,000,000	0
事務局積立・設備投資・システム更新など	1,000,000	0	1,000,000	1,000,000	0
県学会・臨床大会積立・会場の契約前金・50周年積立など	1,000,000	0	1,000,000	1,000,000	0
予備費(補正予算分)	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000
次期繰越金	0	0	0	0	0
支出合計	26,449,020	813,230	26,649,020	19,333,957	7,315,063

一般社団法人 神奈川県作業療法士会			
貸借対照表			
令和7年3月31日現在			
		(単位 円)	
資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
現金・預金	28,753,319	預り金	52,599
立替金	516,644		
		負債合計	52,599
【固定資産】			
事務局積立金	5,302,345		
県学会等積立金	5,000,000	純資産の部	
		【株主資本】	
		資本金	1,635,000
		(利益剰余金)	
		繰越利益剰余金	37,884,709
		純資産合計	39,519,709
資産合計	39,572,308	負債・純資産合	39,572,308
損益計算書			
自 令和6年4月1日			
至 令和7年3月31日			
		(単位 円)	
科目		金額	
【売上高】			
会費収入		17,003,626	
研修会会費収入		3,992,246	
雑収入		354,533	
広告掲載料		30,000	
補助金		150,000	21,530,405
	売上総利益金額		21,530,405
【販売費および一般管理費】			17,333,957
	営業利益金額		4,196,448
【営業外収益】			
受取利息			19,326
	経常利益金額		4,215,774
	税引前当期純利益金額		4,215,774
	当期純利益金額		4,215,774

財 産 目 録

令和7年3月31日現在（決算）

		勘 定 科 目	繰 越 残 高
資 産 の 部	流 動 資 産	小 口 現 金	
		(現 金)	0
		普 通 預 金	25,118,319
		ゆうちょ銀行	275,796
		横浜銀行 一般社団法人用	17,679,971
		横浜銀行 事務局	2,441,619
		横浜銀行 財務部	14,049
		横浜銀行 教育部	297,007
		横浜銀行 学術部 研修事業班	37,460
		横浜銀行 学術部 学術誌刊行班	242,674
		横浜銀行 学術部 研究助成事業班	5,419
		横浜銀行 広報部	86,849
		横浜銀行 広報部 ニュース班	855,225
		横浜銀行 広報部 対外広報班	184,907
		横浜銀行 福利部	160,925
		横浜銀行 地域リハビリテーション部	414,194
		横浜銀行 地域リハビリテーション部生涯教育	0
		横浜銀行 規約委員会	20,030
		横浜銀行 制度対策部	975
		横浜銀行 制度対策部 福祉用具班	92,348
		横浜銀行 制度対策部 災害対策事業班	24,919
		横浜銀行 制度対策部 自動車運転班	120,891
		横浜銀行 ウェブサイト管理委員会	217,658
		横浜銀行 学会評議委員会	75,103
		横浜銀行 公益法人化対策委員会	0
		横浜銀行 生活行為向上マネジメント推進委員会	18,121
		横浜銀行 認知症対策委員会	66,354
		横浜銀行 地域包括ケアシステム推進委員会	87,168
		横浜銀行 選挙管理委員会	79,513
		横浜銀行 エリア化推進委員会	72,376
		横浜銀行 研修会費口	0
		横浜銀行 神奈川県作業療法学会	925,028
		横浜銀行 神奈川県臨床作業療法大会	621,740
		(流 動 性 預 金)	25,118,319
		定期預金	1,635,000
ゆうちょ銀行	1,635,000		
定額貯金	2,000,000		
ゆうちょ銀行	2,000,000		
(固 定 制 預 金)	3,635,000		
(預 金)	28,753,319		
[現 金 預 金]	28,753,319		
立替金	516,644		
【 流 動 資 産 】	29,269,963		
固 定 資 産	普通預金		
	横浜銀行 事務局積立	5,302,345	
	横浜銀行 県学会等積立金(一般社団法人用)	5,000,000	
	(積 立 金)	10,302,345	
【 固 定 資 産 】	10,302,345		
【 資 産 の 部 】		39,572,308	

一般社団法人 神奈川県作業療法士会 期末監査報告

令和7年4月30日

監事 錠内 広之 

監事 野々垣 睦美 

私たちは、一般社団法人神奈川県作業療法士会の監査を行いました。監査にあたっては、各部委員会の活動報告、決算書、出納帳簿、領収書、通帳を確認しました。

監査の結果、本会の活動並びに収支がおおむね健全に遂行されていると認めます。しかし、下記の点に関して改善を検討することをお願いします。

記

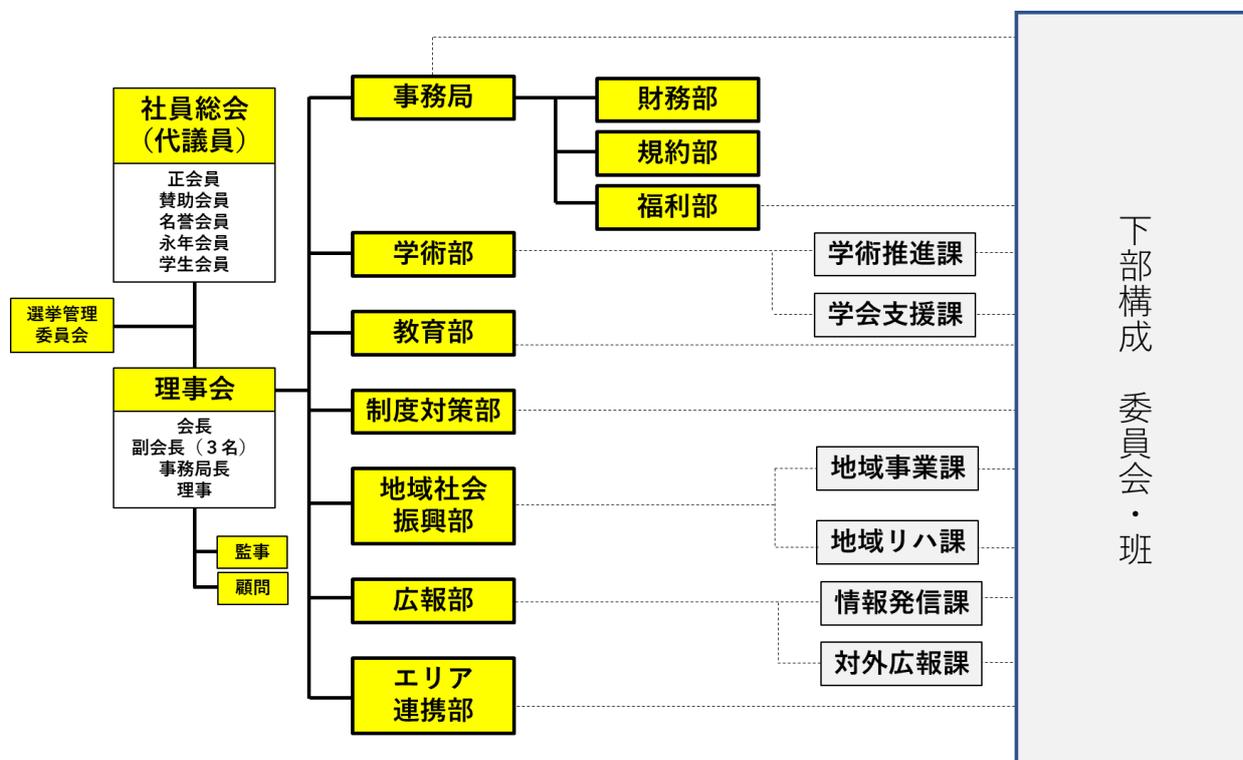
- ・領収書番号（特に銀行振込に関する用紙）が記載されていないものが散見されました。出納帳簿と整合性をもたせてください。
- ・5万円以下の物品は消耗備品に該当します。科目を確認してください。
- ・領収書綴りはA4サイズに統一してください。また、日付順に整理してください。

以上

一般社団法人神奈川県作業療法士会 組織図改編について

第11回社員総会（2024年5月12日）に於いて説明した当会組織図の改編について移行準備が整ってきた。これは、昨今の時流と共に当会の各部門が抱える課題や負担が増え始めていることにより、早急な組織体制の見直しを必要としてきた背景がある。当会としては、新たに様々な課題に向き合える組織体制を強化し、迅速な対応を可能とするため、2025年度より新組織体制図（図1）に則った運営体制に移行していきたい。新組織体制では、副会長を現在の2名から3名体制に変更し、実働事業部門の補佐として活動する役も担うことも加えていく。さらに、組織全体を広い視野で質の高い横断的な連携と効率的な実働管理を強化する。また、事務局機能の強化は法人を管理運営するために、極めて要求の高い改善点である。「法人管理運営部門」である事務局には、事務局長を補佐する役割として事務次長を置き、財務部、規約部、福利部を設置する。実働組織とし管理運営するための「公益管理事業部門」には、学部、教育部、制度対策部、地域社会振興部、広報部、エリア連携部を設置する。従前より設置されていた各委員会や各班は下部組織に設置され、より効率性と機動性をもった活動が実践されることを期待する。常設委員会や特設委員会等は、適切な実働事業部門に紐づけされる。

（図1） 新組織体制図



第 3 号議案 定款の修正について

1. 一般社団法人 神奈川県作業療法士会 定款の修正について

現行	改定案
<p>(役員の種別及び員数)</p> <p>第 26 条 本会に次の役員を置く。ただし、会長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(平成 18 年法律第 48 号)に定める代表理事とし、副会長及び事務局長並びに理事をもって同法第 91 条第 1 項第 2 項の業務執行理事とする。</p> <p>(1) 会長 1 名 (2) 副会長 2 名 (3) 事務局長 1 名 (4) 理事 10 名以上 18 名以内 (5) 監事 2 名以内</p> <p style="text-align: center;">第 8 章 委員会</p> <p>(設置等)</p> <p>第 67 条 本会は、事業の円滑遂行を図るために、理事会の議決を経て委員会を置くことができる。</p> <p>2 委員会の組織及び運営に関して必要な事項は、総会の議決を経て別に定める委員会規則による。</p>	<p>(役員の種別及び員数)</p> <p>第 26 条 本会に次の役員を置く。ただし、会長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(平成 18 年法律第 48 号)に定める代表理事とし、副会長及び事務局長並びに理事をもって同法第 91 条第 1 項第 2 項の業務執行理事とする。</p> <p>(1) 会長 1 名 (2) 副会長—2— <u>3</u> 名 (3) 事務局長 1 名 (4) 理事 10 名以上 18 名以内 (5) 監事 2 名以内</p> <p style="text-align: center;">第 8 章 委員会 <u>組織</u></p> <p>((設置等)</p> <p>第 67 条 本会は、事業の円滑遂行を図るために、理事会の議決を経て委員会を置くことができる。</p> <p>2 委員会の組織及び運営に関して必要な事項は、総会の議決を経て別に定める委員会規則による。</p> <p><u>第 67 条 本会は、事業の円滑な遂行を図るために、理事会及び総会の議決を経て部を設置及び廃止することができる。</u></p> <p><u>2 本会は、事業の円滑な遂行を図るために、理事会の議決を経て課、委員会及び班を設置及び廃止することができる。</u></p> <p><u>3 部内、課内、委員会内及び班内の組織及び運営に関して必要な事項は、理事会の議決を経て別に定める 組織規程による。</u></p>

第 4 号議案 規程の廃止について

1. 一般社団法人神奈川県作業療法士会 組織規程

一般社団法人神奈川県作業療法士会 組織規程

規則・規程第 13 号
平成 23 年 4 月 1 日制定

(目的)

第 1 条 本規程は、一般社団法人神奈川県作業療法士会（以下、本会という。）定款第 5 条に規定する事業の円滑な遂行を図るために、本会組織及びその所掌事務について、必要な事項を定めることを目的とする。

(部の設置)

第 2 条 本会定款第 5 条に規定する事業を執行するために、部を置く。
2 部は本会定款第 67 条第 1 項及び第 2 項並びに本会委員会規則第 2 条に規定する常設委員会及び特設委員会と連携しながら事業の執行に当たるものとする。

(組織構成及び所掌事務)

第 3 条 本会の組織構成及び所掌事務は別図及び別表の通りとする。

(部の新設及び廃止)

第 4 条 部の新設及び廃止については、理事会及び総会の議決を経るものとする。

(部役員を選任)

第 5 条 部の長たる者（以下、部長という。）は理事がこれに当たるものとする。
2 前項の人事は理事会での協議及び議決を経て決定するものとする。
3 部の委員（以下、部員という。）は、理事会の議決を経て、代表理事（以下、会長という。）がこれを委嘱する。
4 前項で規定する部員は、本会会員から選任しなければならない。
5 会長及び部長が特に必要と認める場合には、本会会員以外の者に当該所掌事務に関する意見を求めることができる。
6 会長は本会の監事に対して、部長及び部員の委嘱をすることはできない。

(部役員の数)

第 6 条 部長は 1 名とする。
2 部員は、限定された専門事項の審議及び業務執行を適正に行う員数とし、その決定には理事会の議決を経るものとする。

(部役員任期)

第 7 条 部長及び部員の任期は 2 年とする。ただし、再任を妨げない。

(報告義務)

第8条 部長は、会長の要請によって、口頭若しくは書面にて所定事項に関する報告を行う義務を負う。

(部役員の変更及び補充)

第9条 やむを得ない事情で、部長及び部員を変更もしくは補充する必要がある場合には、会長は理事会の議決を経た後、次期部長及び部員を委嘱するものとする。

(部内規)

第10条 部は本会定款及び本規程に反しない範囲で部内規を作成することができる。

2 前項の部内規は理事会の議決を経て効力を発するものとし、その変更及び廃止についても理事会の議決を要することとする。

(本規程の変更及び廃止)

第11条 本規程の変更または廃止は、理事会及び総会の議決を経なければならない。

(定款及び法令への準拠)

第12条 本規程に規定のない事項については、本会定款及び一般社団法人及び一般社団法人に関する法律(平成18年法律第48号)、その他の法令による。

付則

- 1 本規程は、平成23年5月28日から施行する。
- 2 本規程は、平成28年11月2日に一部改訂する。
- 3 本規程は、平成29年5月14日に一部改訂する。
- 4 本規程は、令和5年5月14日に一部改訂する。
- 5 本規程は、令和6年5月18日に一部改訂する。

別図 一般社団法人神奈川県作業療法士会

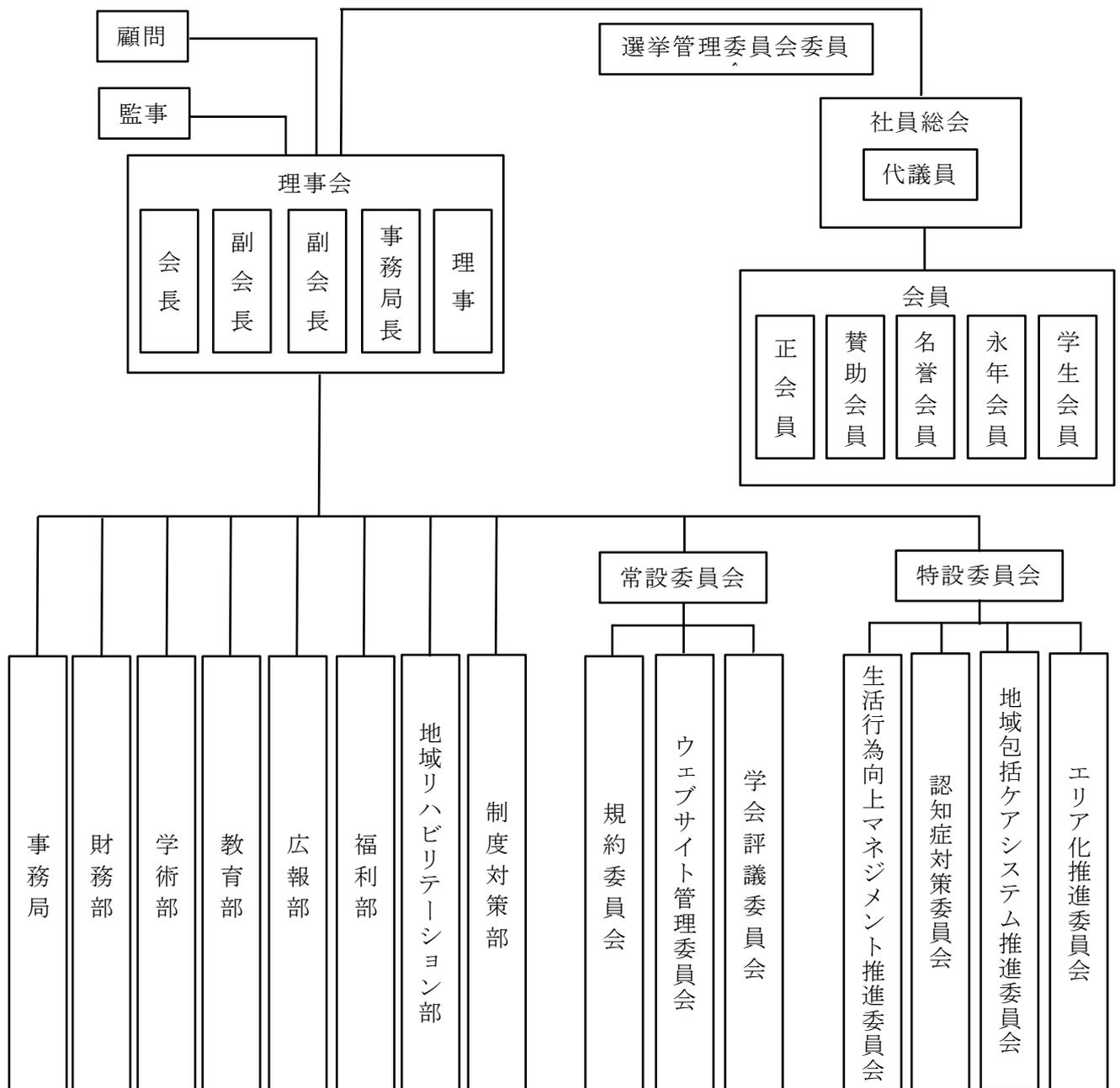
制定日：平成 21 年 4 月 19 日

改訂：平成 24 年 4 月 15 日

改訂：平成 27 年 5 月 31 日

改訂：平成 28 年 11 月 2 日

改訂：令和 6 年 5 月 18 日



別表 所掌事務

事務局	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会員の入退会に関する事 2. 会員名簿に関する事 3. 内外の公文書に関する事 4. 議案書、会議資料、議事録に関する事 5. 会議案内、会議場設営、接待に関する事 6. 総会議事運営に関する事 7. 儀礼関係、内外の来信に関する事 8. 資産の維持・管理に関する事 9. 各種刊行物の発行と保管に関する事 10. その他各部に属しないことに関する事
財務部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 予算編成に関する事 2. 会費その他の収入活動に関する事 3. 支出、決算に関する事 4. その他財務に関する事
学術部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会員の臨床能力向上に関する事 2. 会員の実習指導能力向上に関する事 3. 会員の職場管理能力向上に関する事 4. 会員の研究活動推進に関する事 5. 会員の学術的発展に関する事 6. 学術誌編集に関する事 7. その他学術に関する事
教育部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社団法人日本作業療法士協会生涯教育制度の推進、運営に関する事 2. 神奈川県内における special interest group (SIG) の認定、管理に関する事 3. その他生涯教育に関する事
広報部	<ol style="list-style-type: none"> 1. ニュースの編集・発行など会員への情報発信に関する事 2. 国民、神奈川県民に対する作業療法の広報に関する事 3. その他広報に関する事
福利部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新入会員に対するオリエンテーションに関する事 2. 会員間の交流に関する事 3. 作業療法の発展・推進に寄与した人物・団体等の表彰に関する事 4. 会員の倫理に関する事 5. 神奈川県内の求人・求職に関する事 6. その他福利厚生に関する事
地域リハビリテーション部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域における作業療法の普及・推進に関する事 2. 地域リハビリテーションにおける他職種・機関・組織との連携に関する事 3. 地域で暮らす障がい者・家族、支援者等との連携に関する事

	<p>ること</p> <p>4. その他地域リハビリテーションに関すること</p>
制度対策部	<p>1. 社会保障制度に関すること</p> <p>2. 作業療法関連法規に関すること</p> <p>3. 福祉用具の普及・発展に関すること</p> <p>4. その他福祉用具に関すること</p> <p>5. 災害対策に関すること</p> <p>6. その他作業療法関連制度に関すること</p>
規約委員会	<p>1. 定款の管理に関すること</p> <p>2. 諸規則・規程の策定・修正・変更に関すること</p> <p>3. その他規約に関すること</p>
ウェブサイト管理委員会	<p>1. ウェブサイトの管理に関すること</p> <p>2. メールアカウントの管理に関すること</p> <p>3. その他ウェブサイトに関すること</p>
学会評議委員会	<p>1. 神奈川県作業療法学会，神奈川県臨床作業療法大会の計画に関すること</p> <p>2. 神奈川県作業療法学会学会長，神奈川県臨床作業療法大会長の推薦に関すること</p> <p>3. 神奈川県作業療法学会，神奈川県臨床作業療法大会の適正遂行に関すること</p> <p>4. 神奈川県作業療法学会実行委員会，神奈川県臨床作業療法大会実行委員会との連絡・調整に関すること</p> <p>5. 神奈川県作業療法学会，神奈川県臨床作業療法大会の資料保管に関すること</p> <p>6. その他神奈川県作業療法学会，神奈川県臨床作業療法大会に関すること</p>
生活行為向上マネジメント推進委員会	<p>1. 生活行為向上マネジメントの普及・推進に関すること</p> <p>2. 生活行為向上マネジメントについて，日本作業療法士協会との連携に関すること</p> <p>3. 生活行為向上マネジメント実施状況の調査に関すること</p> <p>4. その他生活行為向上マネジメントに関すること</p>
認知症対策委員会	<p>1. 認知症に対する作業療法の普及・推進に関すること</p> <p>2. 認知症に関連する他職種・機関・組織との連携に関すること</p> <p>3. その他認知症に関すること</p>
地域包括ケアシステム推進委員会	<p>1. 地域包括ケアシステムの推進に関すること</p> <p>2. 地域支援に関する諸施策において，他職種、他団体との連携に関すること</p> <p>3. 県民の健康に寄与する作業療法の有効性を実証できる施策に関すること</p>
エリア化推進委員会	<p>1. 地域に根差した作業療法を実践していくために必要なネットワークづくりに関すること</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 2. エリア化に関する情報発信 3. その他エリア化推進に関すること
選挙管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> 1. 代議員選挙および役員選挙、三役互選選挙に関すること

2. 一般社団法人神奈川県作業療法士会 委員会規則

一般社団法人神奈川県作業療法士会 委員会規則

規則・規程第6号
平成21年4月1日制定

(目的)

第1条 本規則は、一般社団法人神奈川県作業療法士会（以下、「本会」という。）定款第67条第1項及び第2項に基づき、本会の事業の円滑な遂行を図るために設置する委員会について定めることを目的とする。

(種別)

第2条 本会に設置する委員会は次の2種とする。

- (1) 常設委員会
- (2) 特設委員会

2 常設委員会は、限定された専門的事項の審議及び業務執行を継続的に行うものとする。

3 特設委員会は、限定された専門的事項の審議及び業務執行を担当するものとするが、その業務内容と設置期限について本会の代表理事（以下、会長という。）が設置年度当初に明示するものとする。

(設置及び廃止)

第3条 委員会の設置及び廃止については、理事会の議決を経るものとする。

(選任)

第4条 委員会の委員長及び委員は、理事会の議決を経て、会長がこれを委嘱する。

2 会長は本会の監事に対して、委員長及び委員の委嘱をすることはできない。

(員数)

第5条 委員会の委員長は1名とする。

2 委員会の委員は、限定された専門事項の審議及び業務執行を適正に行う員数とし、その決定には理事会の議決を経るものとする。

(任期)

第6条 委員長及び委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(報告義務)

第7条 委員会の委員長は、会長の要請によって、口頭若しくは書面にて所定事項に関する報告を行う義務を負う。

(役員の変更及び補充)

第8条 やむを得ない事情で、委員会の委員長及び委員を変更もしくは補充する必要がある場合には、会長は理事会の議決を経た後、次期委員長及び委員を委嘱するも

のとする。

(委員会内規)

第9条 委員会は本会定款及び本規則に反しない範囲で委員会内規を作成することができる。

2 前項の委員会内規は理事会の議決を経て効力を発するものとし、その変更及び廃止についても理事会の議決を要することとする。

(委員会規則の変更及び廃止)

第10条 本規則の変更または廃止は、理事会及び総会の議決を経なければならない。

(定款及び法令への準拠)

第11条 本規則に規定のない事項については、本会定款及び一般社団法人及び一般社団法人に関する法律(平成18年法律第48号)、その他の法令による。

付則

1 本規則・規程は、平成21年4月19日から施行する。

2 本規則は、平成25年11月14日に一部改訂する。

3 本規則は、平成28年11月2日に一部改訂する。

4 本規則は、令和5年5月14日に一部改訂する。

第5号議案 規程の制定について

1. 一般社団法人神奈川県作業療法士会 組織規程

一般社団法人神奈川県作業療法士会 組織規程

規則・規程第30号
令和7年5月11日制定

(目的)

第1条 本規程は、一般社団法人神奈川県作業療法士会（以下、本会という。）定款第5条に規定する事業の円滑な遂行を図るために、本会組織及びその所掌事務について、必要な事項を定めることを目的とする。

(設置)

第2条 本会定款第5条に規定する事業を執行するために、部、課、委員会及び班を置く。

(組織構成及び所掌事務)

第3条 本会の組織構成及び所掌事務は別図及び別表の通りとする。

(部、課、委員会及び班の設置及び廃止)

第4条 部の設置及び廃止については、理事会及び総会の議決を経るものとする。
2 課、委員会及び班の設置及び廃止については、理事会の議決を経るものとする。

(部役員等の選任)

第5条 部の長たる者（以下、部長という。）は理事がこれに当たるものとする。
2 前項の人事は理事会での協議及び議決を経て決定するものとする。
3 部、課、委員会及び班の構成員は、理事会の議決を経て、代表理事（以下、会長という。）がこれを委嘱する。
4 前項で規定する構成員は、本会会員から選任しなければならない。
5 課長及び班長は所属する部もしくは課、班の構成員により互選にて選任され、部長の推薦により理事会の議決を経て決定するものとする。
6 委員長は理事会の決議を経て決定するものとする。ただし、選挙管理委員会の委員長は、選挙管理委員の互選により選出するものとする。
7 会長及び部長が特に必要と認める場合には、本会会員以外の者に当該所掌事務に関する意見を求めることができる。
8 会長は本会の監事に対して、部長、課長、委員長、班長及び構成員の委嘱をすることはできない。

(部役員等の員数)

第6条 部長、課長、委員長、班長及び構成員は、限定された専門事項の審議及び業務執行を適正に行う員数とし、その決定には理事会の議決を経るものとする。

(部役員等の任期)

第7条 部長の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 選挙管理委員の任期は、定時総会の終結の日の翌日から2年後の定時総会の終結の日までとする。ただし、再任を妨げない。

3 選挙管理委員会を除く課長、委員長、班長及び構成員の任期は、委嘱された日から次に行われる役員選挙が終了するまでの期間までとする。ただし、再任を妨げない。

(報告義務)

第8条 部長、課長、委員長、班長及び構成員は会長の要請によって、口頭若しくは書面にて所定事項に関する報告を行う義務を負う。

(部役員等の変更及び補充)

第9条 やむを得ない事情で、部長、課長、委員長、班長及び構成員を変更もしくは補充する必要がある場合には、会長は理事会の議決を経た後、次期部長、課長、委員長、班長及び構成員を委嘱するものとする。

(内規)

第10条 部、課、委員会及び班は本会定款及び本規程に反しない範囲で内規を作成することができる。

2 前項の内規は理事会の議決を経て効力を発するものとし、その変更及び廃止についても理事会の議決を要することとする。

(定款及び法令への準拠)

第11条 本規程に規定のない事項については、本会定款及び一般社団法人及び一般社団法人に関する法律(平成18年法律第48号)、その他の法令による。

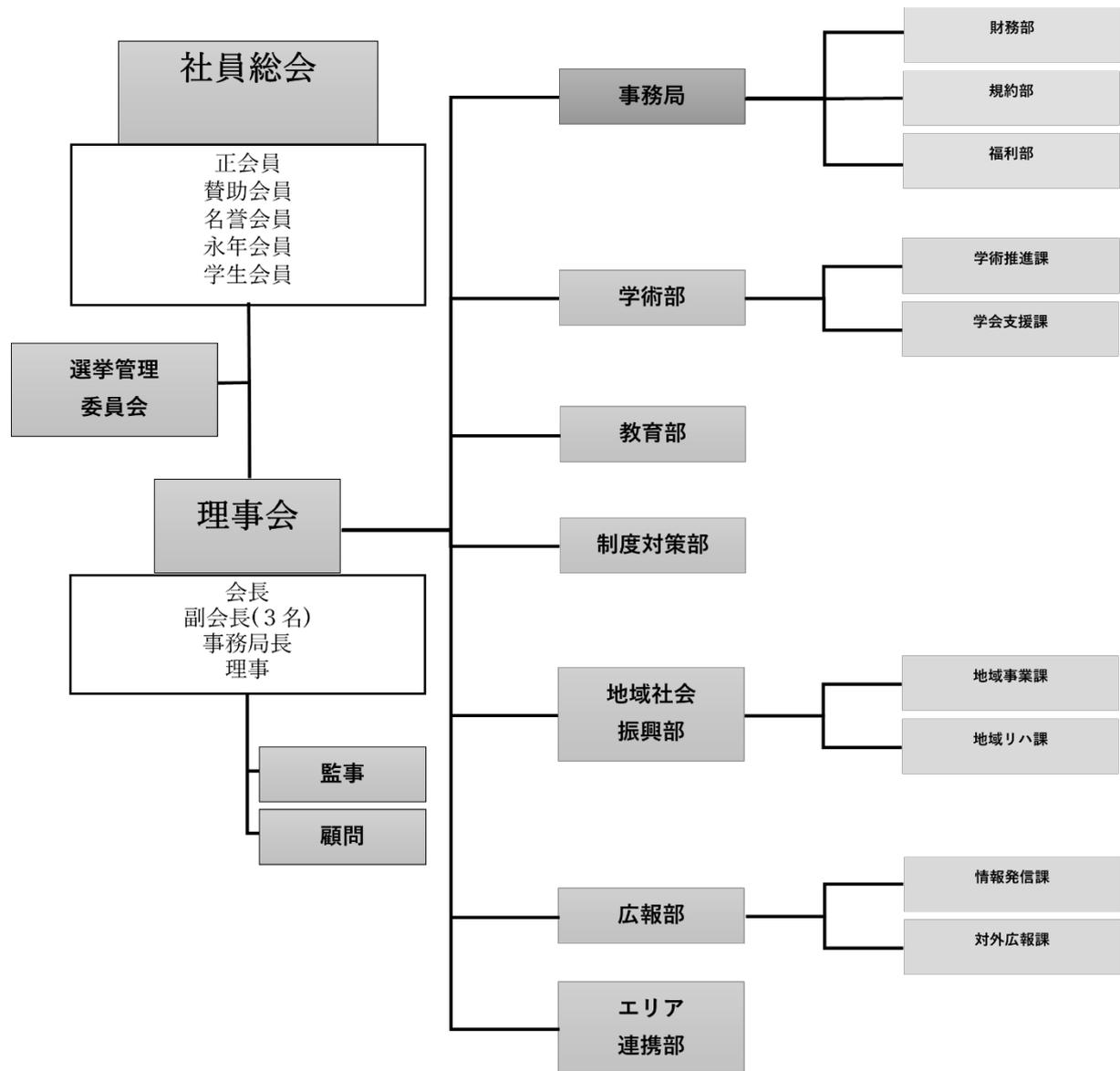
(本規程の変更及び廃止)

第12条 本規程の変更または廃止は、理事会の議決を経なければならない。

(施行)

本規程は、令和7年5月11日から施行する。

別表 組織図



別表 所掌事務

事務局	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会員の入退会に関する事 2. 会員名簿に関する事 3. 内外の公文書に関する事 4. 議案書、会議資料、議事録に関する事 5. 会議案内、会議場設営、接待に関する事 6. 総会議事運営に関する事 7. 儀礼関係、内外の来信に関する事 8. 資産の維持・管理に関する事 9. 各種刊行物の発行と保管に関する事 10. その他各部に属しないことに関する事
財務部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 予算編成に関する事 2. 会費その他の収入活動に関する事 3. 支出、決算に関する事 4. その他財務に関する事
規約部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定款の管理に関する事 2. 諸規則・規程の管理に関する事 3. その他規約に関する事
福利部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新入会員に対するオリエンテーションに関する事 2. 会員間の交流に関する事 3. 作業療法の発展・推進に寄与した人物・団体等の表彰に関する事 4. 会員の倫理に関する事 5. 神奈川県内の求人・求職に関する事 6. その他福利厚生に関する事
学術部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会員の臨床能力向上に関する事 2. 会員の実習指導能力向上に関する事 3. 会員の職場管理能力向上に関する事 4. 会員の研究活動推進に関する事 5. 会員の学術的発展に関する事 6. 学術誌編集に関する事 7. 神奈川県作業療法学会、神奈川県臨床作業療法大会の計画に関する事 8. 神奈川県作業療法学会学会長、神奈川県臨床作業療法大会長の推薦に関する事 9. 神奈川県作業療法学会、神奈川県臨床作業療法大会の適正遂行に関する事 10. 神奈川県作業療法学会実行委員会、神奈川県臨床作業療法大会実行委員会との連絡・調整に関する事 11. 神奈川県作業療法学会、神奈川県臨床作業療法大会の資料保管に関する事 12. その他神奈川県作業療法学会、神奈川県臨床作業療法大会に関する事 13. その他学術に関する事
教育部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一般社団法人日本作業療法士協会生涯学習制度の推進、運営に関する事 2. 神奈川県内における special interest group (SIG) の認定、管理に関する事 3. その他生涯学習に関する事 4. 一般社団法人日本作業療法士協会生活行為向上マネジメント (MTDLP) の推進、普及に関する事 5. その他 MTDLP に関する事
制度対策部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会保障制度に関する事 2. 作業療法関連法規に関する事 3. 福祉用具の普及・発展に関する事 4. その他福祉用具に関する事 5. 災害対策に関する事 6. その他作業療法(士)が関わる制度に関する事
地域社会振興部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域における作業療法の普及・推進に関する事 2. 地域リハビリテーションにおける他職種・機関・組織との連携に関する事 3. 地域で暮らす障がい者・家族、支援者等との連携に関する事

	<p>こと</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 小児領域に関する作業療法の普及・推進に関すること 5. 認知症に関する作業療法の普及・推進に関すること 6. 難病に関する作業療法の普及・推進に関すること 7. 訪問リハビリテーションに関する作業療法の普及・推進に関すること 8. 精神保健福祉に関する作業療法の普及・推進に関すること 9. その他地域リハビリテーションに関すること
広報部	<ol style="list-style-type: none"> 1. ニュースの編集・発行など会員への情報発信に関すること 2. 国民、神奈川県民に対する作業療法の広報に関すること 3. ウェブサイトの管理に関すること 4. メールアカウントの管理に関すること 5. SNS アカウントの管理に関すること 6. その他広報に関すること
エリア連携部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域に根差した作業療法を実践していくために必要なネットワークづくりに関すること 2. エリア化に関する情報発信に関すること 3. その他エリア化推進に関すること
選挙管理委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 代議員選挙および役員選挙、三役互選選挙に関すること

第4号議案 役員選挙結果について

令和7・8年度役員選挙の立候補者募集(募集期間:2024.11.25~2024.12.23 消印有効)に対し、理事8名、監事0名の立候補がありました。また、理事10名と監事2名は、役員選挙規程に則り、理事会による推薦にて選出されました

No	役職	氏名(敬称略)	所属
1	理事	神保 洋平	湘南医療大学
2	理事	青木 啓一郎	昭和大学保健医療学部
3	理事	神田 崇央	湘南大磯病院
4	理事	望月 強併	日本鋼管病院
5	理事	佐藤 範明	神奈川県立保健福祉大学
6	理事	山勢 健太郎	平成横浜病院
7	理事	遠藤 陵晃	横浜 YMCA 学院専門学校
8	理事	澤口 勇	訪問看護ステーション レンゲの花
9	理事	神保 武則	北里大学病院
10	理事	佐々木 秀一	北里大学病院
11	理事	村仲 隼一郎	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
12	理事	奥原 孝幸	神奈川県立保健福祉大学
13	理事	佐藤 隼	さがみりハビリテーション病院
14	理事	田中 ゆかり	藤沢市保健医療センター居宅介護支援事業所
15	理事	佐伯 まどか	医療法人社団協友会

			横浜鶴見リハビリテーション病院
16	理事	石川 恵美子	医療法人社団博慈会 青葉さわい病院 リハビリテーション科
17	理事	野本 義則	東京医療学院大学保健医療学部
18	理事	玖島 弘規	横浜旭中央総合病院
19	監事	錠内 広之	日本鋼管病院
20	監事	野々垣 睦美	クラブハウスすてっぷなな

〈報告事項〉

第1号 2025年度（令和7年度）事業計画

事務局

1. 総会運営

(1) 第12回定時社員総会

2025年5月11日（日）10：00～ 神奈川県立かながわ労働プラザ

2. 三役会・理事会

(1) 三役会の開催

(2) 理事会の開催

3. 会員情報の管理と把握

(1) 安全かつ正確な会員管理を行うためのシステムの検討及び推進

(2) 日本作業療法士協会との情報一元化に向けた取り組み

(3) 入会申込方法等の検討

4. 会員からの問い合わせに対する業務

5. 関連団体等に対する業務

6. 文書の管理と発行および資料の管理

7. 資産の維持・管理に関すること

8. 局・課・部・委員会・班との調整・連携・協業

(1) 事務局内連携協業及び課・部・委員会・班との調整連携協業

9. 事務局機能の強化

10. その他当会の運営に必要なことを他部署と協業しながら行う

財務部

1. 収入及び支出の管理

(1) 決算書作成

(2) 予算案編成

(3) 監査実施

(4) 各部門会計処理方法を毎月確認

(5) 円滑な会費納入支援

2. 財務管理体制に関する検討

(1) 財務管理システム変更の検討継続

(2) 財務状況の把握と調査

(3) 財務基盤の整備と強靱化についての検討(他部署と連携調整など)

(4) 財務関連知識・技術と体制の更新

(5) 会計マニュアルの更新(適宜)

3. 三役、監事、関係部署との連携（会議への出席、相談・支援等）

- (1) 事務局：財務状況の詳細把握、書類・マニュアルの整理・更新
- (2) 三役：次年度予算案についての検討、財務状況に関する調査報告
- (3) 学会実行委員会：学会の財務に関する助言・支援
- (4) 臨床作業療法大会：臨床作業療法大会の財務に関する助言・支援
- (5) その他各部署への財務に関する助言・支援
- (6) 部長、会計担当者に対する会計説明会の実施

4. 部内会議（適宜実施）

5. その他財務に関すること

学術部

県士会員に対する基礎教育以後の学術活動支援を目的とし、臨床実践能力の育成を目指す。また、会員間の知識・技術の共有を促進し、「ともに学び、助け合う」ことを援助する。事業内容は、研修会の企画・運営、学術誌編集・発行、研究助成事業運営の3事業を展開する。

1. スキルアップ研修事業

スキルアップ研修会は全11回を予定する（身障分野7回，精神分野4回）基本的にはzoomを使用したオンラインでの形態を予定しているが，対面での研修会も2回程予定する．対面での内容は治療手技や実技など，対面ではか行えない内容とする．身障分野には研究やマネジメントなどの内容を含む．申し込みは全研修会でオンライン決済システム「Peatix」を使用する．研修会の内容によっては，OT養成校の学生の参加も可能にする．

2. 学術誌刊行事業

県士会発展に寄与する研究・実践の知見を会員間で共有するとともに、県士会の研究・実践活動を内外へ広報すること目的とする。

『神奈川作業療法研究 The Journal of Kanagawa Occupational Therapy Research 2024 Vol.14』を電子ジャーナル「J-stage」で発刊する。オンライン査読システムも使用する。

3. 研究助成事業

会員間での知見の共有、活動の広報を目的とし2課題を推薦予定。研究代表者および研究組織は、以下の2種類の研究課題とする。(研究Ⅰ)：研究代表者は全神奈川県士会員で、研究組織は2法人以上（研究分担者は神奈川県士会員を1名含む）。(研究Ⅱ)：研究代表者は免許取得7年目以下で、研究組織は1法人以上。

承認者は関連学会への応募や神奈川作業療法研究の学術誌への投稿にて成果を公表する予定。

研究助成事業へ関心が増せるよう研究に関する研修会をオンラインで開催する予定。

4. その他：研究倫理委員会の設置に向けた情報収集および準備を行う予定。

教育部

1. 生涯教育制度関連研修会開催

(1) 現職者共通研修：全 10 テーマ開催（オンラインまたは対面）
事例検討・事例報告読み替え申請の受付

(2) 現職者選択研修：2 領域の開催（オンラインまたは対面）

2. 臨床実習指導者講習会の開催：オンライン開催 70 名定員×2 回開催 臨床実習指導者アドバンスコース研修会 50 名定員×1 回

3. 事例報告登録制度の広報、事例報告登録推進研修会開催（オンラインまたは対面） 日本作業療法士協会と連携しながらの県士会主催研修会の開催。

4. 生涯学修制度の広報、啓蒙、推進

県士会ウェブサイトや県士会ニュースを通じたわかりやすい広報。説明会の開催。

5. SIG 団体の登録管理

(1) SIG 団体の登録と管理、OT 協会への申請

6. 生涯教育制度システム利用による研修会バーコード受付及び関連手続き ウェブ開催の場合における受講者の受講履歴チームによる登録

7. その他生涯教育制度関連事項

県士会ウェブサイトやメールでの質問への迅速な対応。

8. 日本作業療法士協会生涯教育制度部局との連携

広報部

1. 日本作業療法士協会との連携

(1) 都道府県士会広報部意見交換会への参加
(2) 協会・士会説明および入会促進事業への協力

2. 県士会活動に関する啓発活動

(1) 入会促進活動

1) 養成校での入会案内

県内・近隣県での県士会入会案内の実施

2) 賛助会員への周知

賛助会員を増やすための検討・実施

(2) 『県士会ニュース』発行・送付

1) 発行回数：年 6 回、偶数月名で発行

8 月号・10 月号は印刷物を送付

4 月号・6 月号・12 月号・2 月号はウェブサイトにて公開

今後完全ウェブサイト公開を目指し、周知していく

2) 印刷部数：約 2600 部 A4 縦 8~12 頁、場合によってカラー印刷あり

3) 送付先：会員（賛助会員含む）、関連団体、県内養成校

4) レイアウト・印刷・発送作業の委託：高陽印刷所に継続委託・適宜編集会議の

実施

3. 作業療法に関する啓発活動

- (1) 一般県民を対象とした活動
 - 1) 神奈川県開催のイベントへの運営協力
 - ◆介護フェア in かながわ
 - 2) 市町村開催のイベントへの運営協力
 - ◆川崎市開催介護いきいきフェア・家族教室
 - 3) 関連職種・民間企業開催のイベント運営協力
- (2) 学生を対象とした活動
 - 1) 小学生・中学生・高校生への職業講話対応・職場見学対応
 - 2) 作業療法に興味のある学生に対する施設見学への対応・紹介
 - 3) 学校対応が必要な県士会員からの問い合わせ対応

4. 広報促進活動

- (1) ウェブサイト管理委員会との LINE 公式アカウントの管理、情報発信の継続
- (2) 『県士会パンフレット』改訂の検討
- (3) 県士会広報促進グッズの作製
- (4) その他県士会をしってもらうために必要な広報物の作成検討

5. 運営会議の実施

上記活動が円滑に実行できるようメール・SLACK・ウェブ会議の実施

福利部

神奈川県作業療法士会会員の入会推進や会員同士の交流を図ることや子育て・介護時にも参加しやすい取り組みの検討、倫理問題の窓口等、「働きやすい環境」という側面から県士会に継続して加入してもらえるような企画運営を行う。

1. 作業療法士を目指す会員に対する入会促進企画

- (1) 新入会員促進媒体の作成
- (2) 養成校に通う学生に向けた県士会の理解を促す機会の開催
- (3) 主に小中高校生を対象としたオンラインでの施設見学会の開催

2. 会員交流企画

- (1) 新入会員オリエンテーションの開催
- (2) 子育て・介護時にも継続して県士会に加入できる環境の検討・提案

3. 求人・求職の推進活動

4. 各種表彰に基づく活動

- (1) 日本作業療法士協会の特別表彰規定に該当する会員の推薦を、神奈川県作業療法士会の推薦・運用規定に基づき行う。
- (2) 厚生労働省や県、市区町村など、行政機関や団体に基づく表彰の該当者の推薦作業
- (3) 関連団体にに基づく表彰の該当者の推薦作業

(4) 神奈川県作業療法士会の表彰の推薦と運用

5. 倫理問題についての対応業務

- (1) 日本作業療法士協会倫理要綱を遵守し、日本作業療法士協会と連携して職業倫理の遵守を推進していく。
- (2) 神奈川県作業療法士会会員に対し、倫理にもとる言動・対応（主にセクシャルハラスメント、パワーハラスメント、マタニティーハラスメント等）があった場合の相談・対応業務を行う。

地域リハビリテーション部

地域リハビリテーション部では、神奈川県内における在宅・施設で活躍する作業療法士に、知識・技術の提供をおこなうと共に、それぞれの連携を促し、ネットワークの構築に寄与する

地域共生社会の実現のために大きく3つの役割を持ち活動する。地域リハビリテーション人材育成を中心とした、こども、難病、精神、地域支援事業などに対して研修、会員や関係機関との共同連携やどの分野でも地域リハビリテーションを身近に感じてもらえるようにする普及、地域で他団体や当事者が作業療法を必要としているのかの情報収集などをする調査を行う。また職能団体として当事者や関係諸機関など県民とのネットワークづくりにも努め、地域リハビリテーションがより円滑に実践されることを目指す。

1. 研修担当

- (1) 「多職種精神保健福祉セミナー（第13回 OT・PSW 合同研修会）」企画・開催
- (2) 地域支援事業に関する研修会などを企画・運営
 - 1) 地域リハビリテーション人材育成研修会 2025
 - 2) 地域リハビリテーションミーティング
- (3) 特別支援教育等における作業療法士の研修会
- (4) 難病支援スキルアップ講習会

2. 普及担当

地域リハビリテーションにおける作業療法の普及を目指す。

- (1) 日本作業療法協会地域社会振興部からの情報収集、会議への参加
- (2) 県内の行政窓口を市町村担当者配置（OT協会の重点項目）
- (3) 作業療法士へ難病支援スキルの普及、他団体との情報交換
- (4) こどもにおける作業療法士の普及、他団体との情報交換
- (5) 地域におけるスポーツやeスポーツ支援の普及と他団体との情報交換
- (6) 神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会との情報交換
- (7) 県の地域・介護予防関連研修会などの協力
- (8) 他専門職団体と情報交換

3. 調査担当

地域リハビリテーションに必要な事業の調査を実施する。

- (1) 地域支援事業・障がい者団体等の活動調査
- (2) 地域リハビリテーション人材バンク検討（地域包括ケア推進委員会と共同）。

制度対策部

1. 社会保障制度に関する事業（社会保障制度班）

- (1) 作業療法（士）に関わる社会保障制度の情報収集と発信
 - 1) 県士会ニュース「OT が知っておくべき制度情報コーナー」（毎号掲載）
 - 2) ブログによる情報発信
- (2) 日本作業療法士協会及び他団体との社会保障制度に関する連携
- (3) 作業療法（士）に関わる諸制度に関する研修会の開催

2. 福祉用具に関する事業（福祉用具班）

- (1) 福祉用具に関する情報収集と発信、相談支援
 - 1) 福祉用具相談支援システム・生活行為工夫情報システム啓発内容のブログ発信
- (2) 他団体からの要請に対し、福祉用具関連講師の派遣
 - 1) 国際福祉機器展 福祉用具相談ブースへの人員派遣等を予定
- (3) 福祉用具に関する会員向け研修会の開催：相談支援システムの周知

3. 災害対策に関する事業（災害対策班）

- (1) 災害対策に関する情報収集と発信
 - 1) Web サイトによる災害関連情報の発信
 - 2) 県士会ニュースへの記事掲載
- (2) 日本作業療法士協会との災害対策に関わる連携
 - 1) 日本作業療法士協会と連携した災害時安否確認システム訓練への参加
 - 2) 日本作業療法士協会・災害ボランティア登録への呼びかけ協力
- (3) 行政との連携（平時）及び神奈川 DWAT への参画
 - 1) かながわ災害福祉広域支援ネットワーク連絡会への参加
 - 2) 神奈川 DWAT への参画
- (4) 大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（JRAT）および県内他団体との連携、県士会の窓口（平時）としての機能。
- (5) 会員被災状況確認のシステムの運用
 - 1) 災害時のマニュアル作成準備、情報収集
- (6) 災害支援に関する研修会の開催

4. 自動車運転と作業療法に関する事業（自動車運転班）

- (1) 自動車運転と作業療法に関する情報収集と発信
 - 1) 県士会ニュース
 - 2) ブログ「カナドラ」による発信
- (2) 自動車運転と作業療法に関する研修会実施
 - 1) 神奈川県警（県運転免許センター）との共同開催を予定
- (3) 自動車運転と作業療法に関する他団体及び日本作業療法士協会との連携

- 1) 神奈川県指定自動車教習所協会との連携
5. その他、作業療法と制度に関すること

規約委員会

1. 定款、諸規則・規程の管理及び制定、変更、修正等の検討
2. 実務レベルでのマニュアルの整備

ウェブサイト管理委員会

1. 基本概念

IT 技術を活用することで、作業療法関連情報・県士会関連情報を確実に発信する。
一般の方：作業療法について知ることができる⇒作業療法を使いたい人、作業療法士になりたい人を増やす、県民の健康の増進に寄与する。
県士会員：県士会情報のデータベースとなる⇒いつでも県士会について必要な情報を閲覧できる。

2. 活動計画

- (1) 県士会サイト<<https://kana-ot.jp>>の企画・管理・運営
- (2) 県士会電子メール<kaot@kana-ot.jp>の受付
- (3) 県士会関連のメールアカウントおよびメーリングリストの管理
- (4) 新着メールマガジン「kana からの手紙」の発信
- (5) ウェブサイト管理委員会公式 X(旧 Twitter)、Facebook、YouTube・Instagram の管理・運営、神奈川県作業療法士会公式 LINE アカウントの管理・運営
- (6) 県士会サイトの広報（県士会ニュースでのウェブサイト通信の掲載など）
- (7) 神奈川県作業療法学会および神奈川県臨床作業療法大会の IT 支援
- (8) その他

学会評議委員会

1. 神奈川県作業療法学会および臨床作業療法大会の運営マニュアルの更新
2. 演題登録システム Confit3 カ年導入（2026 年・第 7 回臨床大会まで）
3. 第 20 回神奈川県作業療法学会の実行委員会支援

開催日時：2025 年 9 月 21 日（日）

開催場所：横浜市開港記念会館

学会長：中西理佐子（横浜南共済病院）

テーマ：「Science&Sustainability～次世代へ伝えたい作業療法の魅力～」

前日には前夜祭企画として、9 月 20 日（土）の午後、神奈川県民公開講座「認知症とともに生きる」を開催

4. 第7回神奈川県臨床作業療法大会の実行委員会支援
開催日時と方法：検討中
大会長：小砂哲太郎(久里浜医療センター)
5. 第21回神奈川県作業療法学会の学会長の選出の検討
上半期には決定をしていく

生活行為向上マネジメント推進委員会

日本作業療法士協会の活動に協働して、生活行為向上マネジメント（MTDLP）の普及・推進を図る。

1. 生活行為向上マネジメントの講習会を企画・開催
 - ・生活行為向上マネジメント基礎研修会 2回実施予定
 - ・生活行為向上マネジメント事例検討会 4回実施予定（個別対応も検討）
2. 生活行為向上マネジメントの推進
 - ・事例検討会報告者への事例報告登録（事例集積）への指導
 - ・広報媒体への生活行為向上マネジメントに関する記事掲載
 - ・生活行為向上マネジメント推進につながる研修会（県士会独自研修会）の検討

認知症対策委員会

会員や一般の方に対して認知症に対する知識の向上・情報の提供を行っていく。

1. 「認知症アップデート研修」開催
認知症に関する地域資源や社会情勢の理解を目的とする「地域編」と作業療法の評価・治療に関する「臨床編」と題した研修会（意見交換含む）をオンラインまたは集合型で各1回ずつ開催する。
2. 認知症関連の情報収集および情報発信
認知症月間などに行われる県内での啓発イベントや認知症関連の制度・事業について、ホームページや公式LINE等を活用して会員等に周知・啓発する。
3. 認知症関連団体との協力・連携
神奈川県内で行われている認知症関連団体が参加する集会に出席し、県内の認知症関連事業に対する県士会としての協力内容の検討を行う。
4. 定例会議
オンライン会議（1回/3ヶ月）およびメールを活用した意見交換を行う。

地域包括ケアシステム推進委員会

高齢社会を迎え、誰もが住み慣れた地域で生き生きと生活が出来るように各自治

体の現状に応じて地域づくりが活発化している。新型コロナウイルス流行による影響もあったが地域で作業療法士の活躍する機会は増加している。当委員会は主に横浜市による地域リハビリテーション活動支援事業の委託を中心に、県士会員の本事業への派遣調整、支援をする。

2025年度においても横浜市地域リハビリテーション活動支援事業の継続と発展、会員の地域支援活動への参加促進、具体的な実践例を紹介し人材育成をしていく。

1. 横浜市「地域リハビリテーション活動支援事業への参画」、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」の取り組み推進等の横浜市事務検討会への出席
2. 地域リハビリテーション活動支援事業に参画できる人材育成研修の実施
3. 地域リハビリテーション活動支援事業の教育分野への啓発
4. 地域リハビリテーション人材バンクの設立へ向けた情報収集

エリア化推進委員会

エリア化推進委員会は、地域共生社会の構築に寄与する作業療法の実践に向けて、各エリアにおける自治体との連携の構築および強化と、エリア内における会員間のネットワーク構築および強化、これらを行う。2025年度では、県士会内のエリア化を具現化することを目指し、下記の事業を行う。

1. エリア化の推進に関すること
2. エリア活動の支援に関すること（自治体との連携、エリア内のOTの交流など）
3. 地域支援活動助成事業
4. 委員会の開催

選挙管理委員会

1. 代議員選挙に関すること
 - (1) 社員総会での役員選挙に関する報告
令和7年度・8年度役員選挙結果
立候補募集期間：2024年11月25日～12月23日（消印有効）
立候補者：8名，監事0名
理事会による推薦：理事10名，監事2名
 - (2) 役員選挙に関する振り返り
2. 代議員選挙に関すること
令和8年度・9年度代議員選挙に関する運営・実施

第2号 2025年度（令和7年度）予算案について

一般社団法人 神奈川県作業療法士会 2025年度予算案

<収入の部>

会費収入		16,160,000
正会員会費（2024年9月2300名）	16,100,000	賛助会員会費(会員B:6社) 60,000
研修会費収入		3,578,000
学術部	900,000	
教育部	1,900,000	
地域リハ部	98,000	
制度対策部	210,000	
MTDLP	400,000	
認知症対策	70,000	
助成金収入		150,000
生涯教育講座	150,000	
広告収入		50,000
雑収入		20,000
運営準備金取り崩し		6,719,240
第20回 県学会 前年度繰越金		935,008
収入合計		27,612,248

<支出の部>

事務局		11,827,200	
給与手当	4,392,000	賃借料	1,644,200
福利厚生費	76,000	光熱水費	300,000
会議費	0	広告宣伝費	0
旅費交通費	564,000	渉外費	70,000
消耗品費	80,000	通信運搬費	1,587,000
印刷製本費	170,000	委託費	2,386,000
修繕費	35,000	諸謝金	0
支払い手数料	350,000	保険料	0
		負担金	10,000
		消耗備品費	103,000
		備品費	0
		その他活動費	0
		雑費	60,000
		法人住民税	0
		租税公課	0
財務部		19,200	
福利厚生費	4,000	支払い手数料	0
会議費	0	賃借料	0
旅費交通費	6,000	渉外費	0
消耗品費	0	通信運搬費	9,200
印刷製本費	0	委託料	0
		諸謝金	0
		負担金	0
		消耗備品費	0
		備品費	0
		雑費	0
学術部(スキルアップ研修事業班,研究助成事業班,学術誌刊行班,研究倫理審査委員会)		1,625,120	
福利厚生費	60,000	支払い手数料	25,000
会議費	0	賃借料	40,000
旅費交通費	118,000	渉外費	20,100
消耗品費	70,000	通信運搬費	336,500
印刷製本費	40,000	委託料	318,000
		諸謝金	587,520
		負担金	0
		消耗備品費	10,000
		備品費	0
		雑費	0
教育部		2,029,500	
福利厚生費	4,000	支払い手数料	0
会議費	0	賃借料	140,000
旅費交通費	68,000	渉外費	6,000
消耗品費	6,000	通信運搬費	194,000
印刷製本費	60,000	委託料	0
		諸謝金	1,551,500
		負担金	0
		消耗備品費	0
		備品費	0
		雑費	0
広報部		2,503,000	
福利厚生費	0	支払い手数料	4,000
会議費	0	賃借料	50,000
旅費交通費	54,000	渉外費	0
消耗品費	1,000,000	通信運搬費	1,095,000
印刷製本費	10,000	委託料	0
		諸謝金	0
		負担金	0
		消耗備品費	140,000
		備品費	0
		雑費	150,000

部	福利部				247,500	
	福利厚生費	0	支払い手数料	0	諸謝金	11,500
	会議費	0	賃借料	0	負担金	0
	旅費交通費	34,000	渉外費	52,000	消耗備品費	30,000
	消耗品費	30,000	通信運搬費	83,000	備品費	5,000
	印刷製本費	0	委託料	0	雑費	2,000
	地域リハビリテーション部(地域リハ班,生涯教育班)				999,700	
	福利厚生費	65,800	支払い手数料	5,900	諸謝金	230,000
	会議費	0	賃借料	81,900	負担金	1,400
	旅費交通費	138,500	渉外費	26,000	消耗備品費	0
	消耗品費	17,700	通信運搬費	328,300	備品費	0
	印刷製本費	104,200	委託料	0	雑費	0
	制度対策部(社会保障制度対策事業班,福祉用具対策事業班,災害対策事業班,自動車運転班)				527,220	
	福利厚生費	34,000	支払い手数料	7,320	諸謝金	140,000
	会議費	0	賃借料	115,000	負担金	0
	旅費交通費	91,000	渉外費	20,000	消耗備品費	7,000
消耗品費	4,000	通信運搬費	102,800	備品費	100	
印刷製本費	6,000	委託料	0	雑費	0	
常 設 委 員 会	規約委員会				13,200	
	福利厚生費	0	支払い手数料	0	諸謝金	0
	会議費	0	賃借料	0	負担金	0
	旅費交通費	0	渉外費	0	消耗備品費	0
	消耗品費	0	通信運搬費	13,200	備品費	0
	印刷製本費	0	委託料	0	雑費	0
	ウェブサイト管理委員会				145,000	
	福利厚生費	0	修繕費	0	諸謝金	0
	会議費	0	賃借料	0	負担金	0
	旅費交通費	0	渉外費	0	消耗備品費	15,000
	消耗品費	0	通信運搬費	122,000	備品費	0
	印刷製本費	8,000	委託料	0	雑費	0
	学会評議委員会				217,800	
	福利厚生費	0	支払い手数料	0	諸謝金	0
	会議費	0	賃借料	0	負担金	0
	旅費交通費	9,000	渉外費	0	消耗備品費	0
	消耗品費	0	通信運搬費	118,800	備品費	0
	印刷製本費	90,000	委託料	0	雑費	0
	選挙管理委員会				80,000	
	福利厚生費	0	支払い手数料	0	諸謝金	0
	会議費	0	賃借料	0	負担金	0
	旅費交通費	20,000	渉外費	0	消耗備品費	0
	消耗品費	0	通信運搬費	20,000	備品費	0
	印刷製本費	40,000	委託料	0	雑費	0
生活行為向上マネジメント推進委員会				531,500		
福利厚生費	16,000	支払い手数料	15,000	諸謝金	370,500	
会議費	0	賃借料	40,000	負担金	0	
旅費交通費	18,000	渉外費	0	消耗備品費	0	
消耗品費	6,000	通信運搬費	56,000	備品費	0	
印刷製本費	10,000	委託料	0	雑費	0	
認知症対策委員会				87,800		
福利厚生費	9,000	支払い手数料	3,000	諸謝金	22,000	
会議費	0	賃借料	10,800	負担金	0	
旅費交通費	12,000	渉外費	0	消耗備品費	0	
消耗品費	0	通信運搬費	25,000	備品費	0	
印刷製本費	5,000	委託料	0	雑費	1,000	
地域包括ケアシステム推進委員会				100,500		
福利厚生費	0	支払い手数料	0	諸謝金	0	
会議費	0	賃借料	5,000	負担金	0	
旅費交通費	16,000	渉外費	0	消耗備品費	0	
消耗品費	0	通信運搬費	79,500	備品費	0	
印刷製本費	0	委託料	0	雑費	0	

エリア化推進委員会				151,000	
福利厚生費	19,000	支払い手数料	2,000	諸謝金	0
会議費	0	賃借料	10,000	負担金	0
旅費交通費	32,000	渉外費	0	消耗備品費	0
消耗品費	0	通信運搬費	73,000	備品費	0
印刷製本費	13,000	委託料	0	雑費	2,000
助成金				500,000	
研究助成				400,000	
地域支援活動助成金				100,000	
積立金				1,500,000	
事務局積み立て	設備投資、システム更新など			1,000,000	
会場の契約前金・50周年積立など				500,000	
そ の 他	神奈川県作業療法学会 実行委員会			2,535,008	
	開催年	会場費50万円+運営費110万円		1,600,000	
	前年度繰越金			935,008	
	臨床作業療法大会 実行委員会			900,000	
	準備年	会場費(半額¥40万)+運営費(1年分¥50万)		900,000	
	他団体会費			72,000	
	神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会		30円×2400人	72,000	
	予備費(補正予算分)			1,000,000	
	支 出 合 計			27,612,248	

資料

1. 2024年度 後援・協賛等一覧

2025年4月11日 ～12日	札幌徳洲会病院リハビリテーション科	第37回日本ハンドセラピー学会学術集会	後援
5月18日	神奈川県保険医協会	第32回在宅医療・介護セミナー	後援
6月22日～6月23日	日本ケアマネジメント学会	日本ケアマネジメント学会第23回研究大会	後援
8月24日	第29回日本在宅ケア学会学術集会事務局	第29回日本在宅ケア学会学術集会	後援
9月18日	神奈川県病院協会	第43回神奈川県病院学会に係る協力団体名義使用について	後援
10月20日	神奈川県保険医協会	第25回医療・健康フェスティバル	後援
11月15日～17日	医療法人潮かぜ会秋谷潮かぜ診療所	日本在宅ホスピス協力全国大会 in 葉山	後援
2025年2月1日	神奈川県介護支援専門員協会	第22回神奈川県介護支援専門員研究大会	後援
2月9日	神奈川県理学療法士会	第41回 神奈川県理学療法士学会	後援
3月8日	日本医療マネジメント学会	第24回 神奈川県支部学術集会	後援
3月23日	神奈川県西地区リハビリテーション協議会	小田原Rフェス2025	後援

2. 2024年度 賛助会員一覧

株式会社 柴橋商会	学校法人昭和医科大学 昭和医科大学保健医療学部
「進」リハの集い	有限会社 足柄リハビリテーションサービス
イワツキ株式会社 相模原営業所	グランメイト株式会社 神奈川営業所
上沼 早慧氏	小崎 瑞穂氏
高見澤 広太氏	田坂 麻紀子氏
松本 美並氏	戸田 成美氏

3. 2024年度 名誉会員 一覧

田中 節子 氏

4. 2024 年度他組織・団体等の県士会代表委員名簿

団体名	役職	代表
神奈川県病院協会学術委員会	事業委員	神保会長
神奈川県エイズ対策推進委員会	委員	神保会長
神奈川県病院医療関係団体連絡協議会	委員	神保会長
神奈川県在宅医療推進協議会リハビリテーション部会	委員	田中副会長
神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会	副会長 委員 委員	遠藤理事 佐藤隼理事 金子康氏
神奈川県介護予防事業市町村支援委員会 専門部会	委員	遠藤理事

5. 一般社団法人 日本作業療法士協会 特別表彰者 一覧

平成 27 年度表彰	渡邊 慎一 氏 (横浜市総合リハビリテーションセンター)
平成 28 年度表彰	鶴見 隆彦 氏 (湘南医療大学)
平成 30 年度表彰	杉本 由美子 氏 (重度身体障害者と共に歩む会)

6. 第8期（2024年度）理事・監事名簿

	役職・担当部署	氏名	所属	勤務体制
代表理事	会長	神保 武則	北里大学病院	非常勤
理事	副会長	田中 ゆかり	藤沢市保健医療センター	非常勤
理事	副会長	吉本 雅一	湘南鎌倉総合病院	非常勤
理事	事務局長	玖島 弘規	相原病院	非常勤
理事	財務部	望月 強併	日本鋼管病院	非常勤
理事	学術部	佐々木 秀一	北里大学病院	非常勤
理事	教育部	神保 洋平	湘南医療大学	非常勤
理事	広報部	金山 桂	介護老人保健施設 千の風・川崎	非常勤
理事	福利部	山勢 健太郎	おうち診療所二俣川	非常勤
理事	地域リハビリ テーション部	遠藤 陵晃	横浜 YMCA 学院専門学校	非常勤
理事	制度対策部	澤口 勇	訪問看護ステーション レングの花	非常勤
理事	規約委員会	神田 崇央	湘南大磯病院	非常勤
理事	ウェブサイト 管理委員会	佐藤 範明	神奈川県立保健福祉大学	非常勤
理事	学会評議委員会	青木 啓一郎	昭和医科大学保健医療学部	非常勤
理事	認知症対策委員会	佐藤 隼	さがみりハビリテーション病院	非常勤
理事	生活行為向上マネジ メント推進委員会	奥原 孝幸	神奈川県立保健福祉大学	非常勤
理事	地域包括ケアシステ ム推進委員会	遠藤 陵晃 (兼任)	横浜 YMCA 学院専門学校	非常勤
理事	エリア化推進委員会	野本 義則	自宅会員(東京医療学院大学)	非常勤
監事		錠内 広之	日本鋼管病院	非常勤
監事		野々垣 睦美	クラブハウス すてっぷなな	非常勤
顧問		渡邊 慎一	横浜市総合リハビリテーション センター	非常勤

※役員は職場を持っており報酬はありません

7. 第8期(2024年度)各部・委員名簿

●部長・委員長 ○班長

【会長】

神保 武則

【副会長】

田中 ゆかり

吉本 雅一

【監事】

錠内 広之

野々垣 睦美

【顧問】

渡邊 慎一

【事務局】

●玖島 弘規 ・兵頭 夏海 ・神原 文香 ・田中 達也 ・須崎 可奈子

【財務部】

●望月 強併 ・鈴木 颯人

【学術部】

●佐々木 秀一

「スキルアップ研修班」

○林 慎也 ・井上 那築 ・山本 恵利香 ・栢沼 綾華 ・益田 拓弥
・高見澤 広太 ・葛岡 哲 ・上沼 早慧 ・脇田 美穂 ・古屋 慶一郎
・茂木 茉莉奈 ・芹澤 健輔 ・斎藤 成美 ・榎本 光彦 ・金箱 志織
・小林 亜香里 ・佐藤 光 ・吉葉 咲穂

「研究助成事業班」

・石川 哲也 ・佐々木 洋子 ・宮崎 道輝

「学術誌編集部」

○鈴木 久義 ○渡部 喬之 ・嘉部 匡朗 ・内堀 謙吾 ・岩井 佑樹
・佐々木 智 ・中村 拓人 ・駒場 一貴 ・村仲 隼一郎 ・牛腸 昌利
・佐野 邦典

「学術誌査読委員」

・坂本 俊夫 ・佐々木 祥太郎 ・増山 英理子 ・澤口 勇 ・篠崎 雅江
・坂本 安令 ・早川 裕子 ・福留 大輔 ・田邊 浩文 ・窪田 聡
・中西 理佐子 ・佐々木 洋子 ・廣瀬 卓哉 ・丸岡 ちひろ ・魚岸 実弦
・宮内 貴之

【教育部】

●神保 洋平 ・齋藤 七海 ・高橋 玲 ・瀬口 結風 ・井上 由貴 ・椎野 紫苑
・佐藤 智子 ・加藤 千裕 ・水野 友美 ・小林 佳弘 ・山岡 洸 ・藤田 法成
・木村 亮太 ・金木 貴芳 ・鈴木 香苗 ・江川 侑希 ・小鷹 祐未
・杉浦 隼太 ・嶋津 美乃里 ・小竹 克郁 ・山本 力也 ・大江 珠祐
・荒木 明日香

・山田 千紗 ・鈴木 音弥 ・安井 茶帆 ・篠田 謙志郎 ・豊島 一誠
・安井 思帆 ・平野 翔 ・前澤 幸穂 ・渡邊 玲奈

【広報部】

●金山 桂 ・山本 潤 ・鈴木 千晶

「対外広報班」

○清野 由香里 ・鈴木 北斗 ・水野 友和 ・有田 健吾 ・花形 真 ・佐藤 隼
・天野 沙織 ・額谷 文太 ・竹村 祐樹

「ニュース班」

○出口 弦舞 ・長谷川 春香 ・丸岡 ちひろ ・山岡 洗 ・松井 洋鷹
・佐藤 愛 ・碓屋 瑛理

【福利部】

●山勢 健太郎 ・山口 悠里 ・古賀 誠 ・小砂 哲太郎 ・秋山 莉乃
・清水 謙太

【地域リハビリテーション部】

●遠藤 陵晃 ・札野 優 ・佐藤 隼 ・中島 恵美 ・初鹿 真樹 ・宮本 啓太
・柏木 和人 ・赤羽 竜馬 ・坂内 大祐 ・村田 明穂 ・小松 瑛里
・渡辺 圭祐 ・梶ヶ谷 聡 ・西浦 淳一郎 ・原島 淳 ・芳賀 吉朗
・佐藤 範明 ・戸塚 香代子 ・増子 拓真 ・庄司 薫 ・沼澤 真琴
・佐藤 佳央里 ・鎌田 崇寛 ・金子 康 ・寺田 紗永 ・渋谷 拓郎
・早川 大貴 ・重森 七美 ・宍戸 真帆 ・千葉 ひより ・濱口 陽介
・椎名 郁 ・大河内 萌

【制度対策部】

●澤口 勇

「福祉用具班」

○沼田 一恵 ・木村 亮介 ・宮田 和典 ・加藤 結花里 ・高吉 亮平
・川辺 均 ・山崎 あゆみ ・郷 康人 ・中村 瑞紀 ・鈴木 結葉

「災害対策事業班」

○宮田 和典 ・西 則彦 ・佐野 邦典

「自動車運転班」

○渡辺 謙斗 ・渡邊 隼人

「社会保険制度班」

○山根 剛 ・奥村 容子 ・村越 妙美 ・平野 航希

【規約委員会】

●神田 崇央 ・生出 太郎 ・中山 淳

【ウェブサイト管理委員会】

●佐藤 範明 ・作田 浩行 ・福嶋 祐子 ・甲本 夏穂 ・清水 拓人
・都丸 碧 ・山本 涼未 ・松本 美並

【学会評議委員会】

●青木 啓一郎 ・荻野 祥代 ・小柳 俊介 ・濱口 陽介 ・内山 博之
・一木 愛子 ・岩切 美帆子 ・小林 千裕 ・須鎌 康介 ・鈴木 哲理

・森下 容丞 ・戸田 成美

【認知症対策委員会】

●佐藤 隼 ・小河原 格也 ・山口 拓也 ・森山 康平 ・齋藤 信

【生活行為向上マネジメント推進委員会】

●奥原 孝幸 ・村仲 隼一郎 ・渡邊 隼人 ・石井 有希 ・関口 直也

・大場 文 ・岩崎 竜弥 ・清水 拓人 ・石川 恵美子

【エリア化推進委員会】

●野本 義則 ・大郷 和成 ・小泉 善久 ・藤崎 咲子 ・谷地 秀昭

・中井 琢哉 ・高橋 勇大 ・和田 尚 ・佐伯 まどか

【地域包括ケアシステム推進委員会】

●遠藤 陵晃 ・木下 剛 ・池嶋 孝二 ・片岡 直人 ・山岡 洸 ・吉田 倫子

・石川 恵美子 ・西川 航平 ・早川 大貴

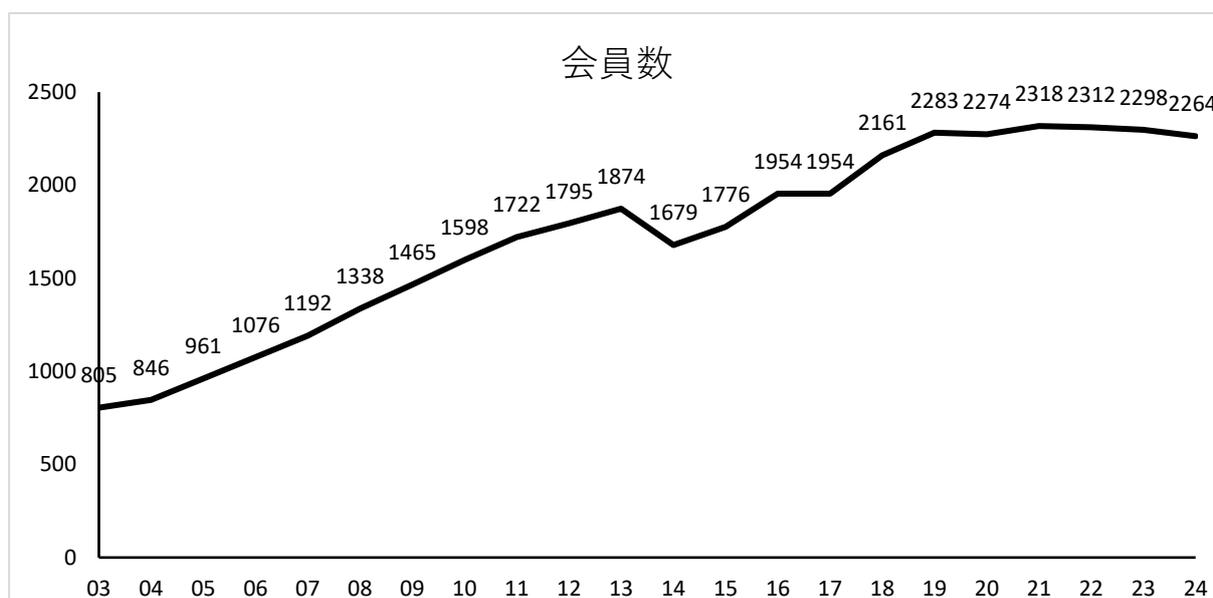
【選挙管理委員会】

●池田 公平 ・廣瀬 智哉 ・田中 雅士 ・高見澤 広太 ・中村 拓人

8. 一般社団法人神奈川県作業療法士会 会員数結果(2024 年度版)

I 会員データ

2024年度現在会員数			2,264 名
内訳	施設会員	(常勤)	2,074 名
	自宅会員	(非常勤・休業)	190 名
(休会会員・・・2024/4/1～2025/3/31まで			21名)



II 神奈川県内における認定作業療法士・専門作業療法士取得者数(2025. 4. 1 現在)

認定作業療法士	84 名
---------	------

専門作業療法士	11 名	
内訳	高次脳機能障害	2 名
	手外科	1 名
	特別支援教育	0 名
	福祉用具	1 名
	訪問作業療法	1 名
	がん	1 名
	脳血管障害	5 名
	認知症	0 名

	精神科急性期	0名
	摂食嚥下	0名
	就労支援	0名